

厚生労働省大臣官房統計情報部社会統計課
社会医療統計第一係（内線：7559）
医科担当係：社会医療統計第五係（内線：7563）
歯科担当係：社会医療統計第六係（内線：7564）
薬剤・調剤担当係：社会医療統計第三係（内線：7561）
電話：03-5253-1111（代表）
03-3595-2918（ダイヤル）

平成19年（2007） 社会医療診療行為別調査結果の概況

目 次

調査の概要	1 頁
結果の概要	
I 診療行為・調剤行為の状況	
〔医科診療〕	
1 診療行為の状況	3
2 一般医療と老人医療別にみた診療行為の状況	5
3 病院と診療所別にみた診療行為の状況	9
4 D P Cに係る明細書とD P Cに係る明細書以外別にみた診療行為の状況	11
5 傷病分類別にみた1日当たり点数	13
〔歯科診療〕	
6 診療行為の状況	14
7 一般医療と老人医療別にみた診療行為の状況	15
8 傷病分類別にみた1日当たり点数	16
〔院外処方〕	
9 院外処方率	17
〔薬局調剤〕	
10 調剤行為の状況	18
11 一般医療と老人医療別にみた調剤行為の状況	19
II 薬剤の使用状況	
1 薬剤料の比率	20
2 院内処方（入院外・投薬）及び院外処方（薬局調剤）における薬剤点数	21
3 薬価階級別薬剤点数	22
4 薬剤種類数	23
5 薬効分類別にみた薬剤の使用状況	24
6 後発医薬品の使用状況	25
統計表	26
用語の定義	34

調査の概要

1 調査の目的

この調査は、政府管掌健康保険(以下、「政管健保」という。)、組合管掌健康保険(以下、「組合健保」という。))及び国民健康保険(以下、「国保」という。))における医療の給付の受給者にかかる診療行為の内容、傷病の状況、調剤行為の内容及び薬剤の使用状況等を明らかにし、医療保険行政に必要な基礎資料を得ることを目的とする。

2 調査の範囲

各都道府県の社会保険診療報酬支払基金支部(以下、「支払基金支部」という。))及び国民健康保険団体連合会(以下、「国保団体連合会」という。))において、審査決定された政管健保、組合健保及び国保の一般医療及び老人医療の医科診療及び歯科診療の診療報酬明細書及び調剤報酬明細書(以下、「明細書」という。))を調査の対象とした。

調査の客体は、第一次抽出単位を保険医療機関及び保険薬局とし、第二次抽出単位を明細書とする層化無作為二段抽出法により抽出された明細書とした。

(集計客体数)

	施設数	明細書件数		
		総数	一般医療	老人医療
医科	10 739	355 204	215 839	139 365
病院	1 218	115 812	68 715	47 097
診療所	9 521	239 392	147 124	92 268
歯科	957	28 981	17 741	11 240
調剤	4 501	74 554	38 222	36 332

3 調査の時期

平成19年6月審査分

4 調査の事項

診療報酬明細書 …… 年齢、傷病名、診療実日数、診療行為別点数・回数及び薬剤の使用状況(薬品名・使用量等)等

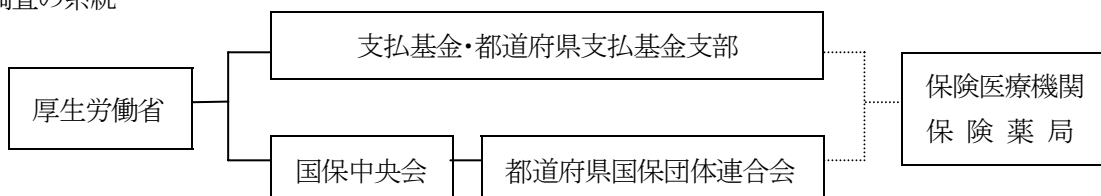
調剤報酬明細書 …… 年齢、処方せん受付回数、調剤行為別点数・回数及び薬剤の使用状況(薬品名・使用量等)等

5 調査の方法及び系統

(1) 調査の方法

支払基金支部及び国保団体連合会が、調査の対象となった保険医療機関及び保険薬局の明細書から別に定める抽出率により抽出を行い、その写しを厚生労働省大臣官房統計情報部に提出する方法により行った。

(2) 調査の系統



6 結果の集計

集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部で行った。

7 利用上の注意

(1) 表章記号の規約

計数のない場合	—	数値が表章単位に満たない場合	0.0
統計項目のありえない場合	・	負数の場合	△

(2) 掲載の数値は四捨五入のため、内訳の合計が総数に合わない場合がある。

(3) この概況に掲載の数値は、政管健保、組合健保及び国保における平成 19年6月審査分の全国推計数である。

(4) 診療行為分類「診断群分類による包括評価等」には、包括評価(DPC)の所定点数に、特定入院料に関する加算を含む。

結果の概要

I 診療行為・調剤行為の状況

〔医科診療〕

1 診療行為の状況

(1) 入院における1件当たり点数は 39,672.9 点で、前年に比べ 2,643.3 点、7.1%増加している。

1日当たり点数は 2,478.4 点で、前年に比べ 173.5 点、7.5%増加している。診療行為別にみると、「入院料等」1,269.9 点(構成割合 51.2%)が最も高く、次いで「手術」333.1 点(13.4%)、「診断群分類による包括評価等」294.6 点(11.9%)の順となっている。

1件当たり日数は 16.01 日で、前年に比べ 0.06 日減少している。(表 1、図 1)

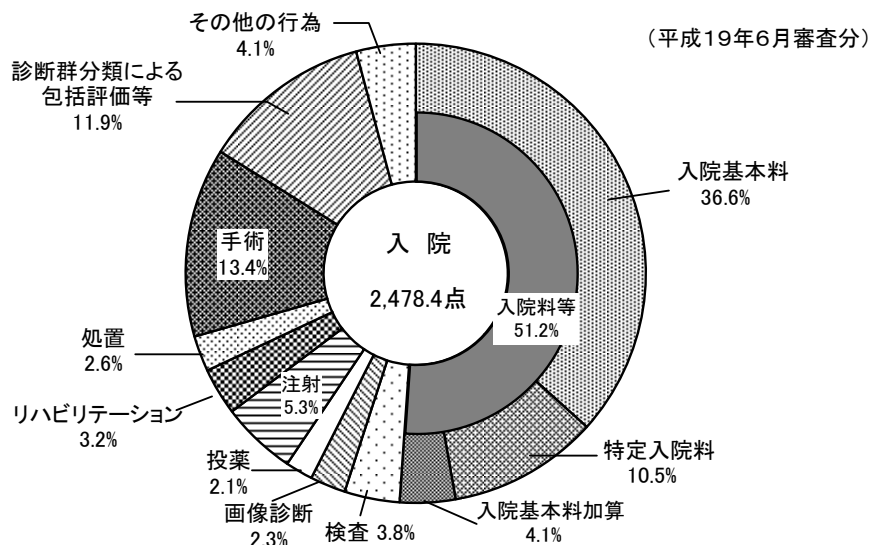
表 1 診療行為別にみた入院の1件当たり点数・1日当たり点数・1件当たり日数

(各年6月審査分)

診療行為	1件当たり点数				1日当たり点数			
	平成19年 (2007)	平成18年 (2006)	対前年		平成19年 (2007)	平成18年 (2006)	対前年	
			増減点数	増減率(%)			増減点数	増減率(%)
総数	39 672.9	37 029.6	2 643.3	7.1	2 478.4	2 305.0	173.5	7.5
初・再診	46.4	42.2	4.2	10.0	2.9	2.6	0.3	10.4
医学管理等	326.8	300.0	26.8	8.9	20.4	18.7	1.7	9.3
在宅医療	67.5	59.5	8.0	13.4	4.2	3.7	0.5	13.8
検査	1 505.7	1 511.0	△ 5.3	△ 0.4	94.1	94.1	0.0	0.0
画像診断	930.3	894.3	36.1	4.0	58.1	55.7	2.5	4.4
投薬	816.8	789.2	27.6	3.5	51.0	49.1	1.9	3.9
注射	2 113.9	2 157.6	△ 43.8	△ 2.0	132.1	134.3	△ 2.2	△ 1.7
リハビリテーション	1 275.7	1 084.2	191.6	17.7	79.7	67.5	12.2	18.1
精神科専門療法	207.0	188.5	18.5	9.8	12.9	11.7	1.2	10.2
処置	1 032.5	995.0	37.5	3.8	64.5	61.9	2.6	4.1
手術	5 331.4	4 654.6	676.9	14.5	333.1	289.7	43.3	15.0
麻酔	795.0	783.8	11.2	1.4	49.7	48.8	0.9	1.8
放射線治療	179.3	131.5	47.8	36.3	11.2	8.2	3.0	36.8
入院料等	20 328.2	20 638.6	△ 310.5	△ 1.5	1 269.9	1 284.7	△ 14.8	△ 1.1
診断群分類による包括評価等	4 716.6	2 799.5	1 917.0	68.5	294.6	174.3	120.4	69.1
(1件当たり日数)	(16.01)	(16.07)						
入院時食事療養等(単位:円)	27 842	27 641	202	0.7	1 739	1 721	19	1.1

注:「総数」には「入院時食事療養等」を含まない。

図 1 診療行為別にみた入院の1日当たり点数の構成割合



注:「その他の行為」は、「初・再診」「医学管理等」「在宅医療」「精神科専門療法」「麻酔」及び「放射線治療」である。

(2) 入院外における1件当たり点数は 1,227.5 点で、前年に比べ 8.3 点、0.7%減少している。

1日当たり点数は 680.4 点で、前年に比べ 14.7 点、2.2%増加している。診療行為別にみると、「投薬」142.1 点(構成割合 20.9%)が最も高く、次いで「初・再診」126.9 点(18.7%)、「検査」109.6 点(16.1%)の順となっている。

1件当たり日数は 1.80 日で、前年に比べ 0.06 日減少している。(表2、図2)

表2 診療行為別にみた入院外の1件当たり点数・1日当たり点数・1件当たり日数

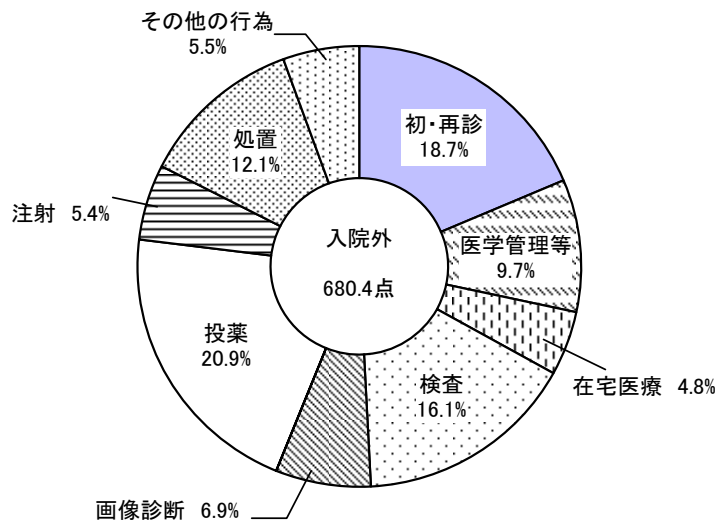
(各年6月審査分)

診療行為	1件当たり点数				1日当たり点数			
	平成19年 (2007)	平成18年 (2006)	対前年		平成19年 (2007)	平成18年 (2006)	対前年	
			増減点数	増減率(%)			増減点数	増減率(%)
総数	1 227.5	1 235.8	△ 8.3	△ 0.7	680.4	665.7	14.7	2.2
初・再診	229.0	230.7	△ 1.7	△ 0.7	126.9	124.3	2.7	2.2
医学管理等	119.3	117.2	2.1	1.8	66.1	63.1	3.0	4.7
在宅医療	58.5	53.3	5.2	9.8	32.4	28.7	3.7	13.0
検査	197.8	195.0	2.8	1.5	109.6	105.0	4.6	4.4
画像診断	84.7	83.9	0.8	0.9	47.0	45.2	1.7	3.9
投薬	256.4	280.1	△ 23.7	△ 8.5	142.1	150.9	△ 8.8	△ 5.8
注射	66.7	60.0	6.7	11.2	37.0	32.3	4.6	14.4
リハビリテーション	8.5	13.0	△ 4.5	△ 34.7	4.7	7.0	△ 2.3	△ 32.8
精神科専門療法	23.6	30.0	△ 6.4	△ 21.4	13.1	16.2	△ 3.1	△ 19.1
処置	148.1	135.3	12.8	9.5	82.1	72.9	9.2	12.7
手術	26.1	27.4	△ 1.2	△ 4.5	14.5	14.7	△ 0.3	△ 1.7
麻酔	5.7	5.3	0.4	7.3	3.1	2.8	0.3	10.4
放射線治療	3.1	4.7	△ 1.7	△ 35.1	1.7	2.5	△ 0.8	△ 33.2
(1件当たり日数)	(1.80)	(1.86)						

注:「総数」には「入院料等(短期滞在手術基本料1)」を含む。

図2 診療行為別にみた入院外の1日当たり点数の構成割合

(平成19年6月審査分)



注:「その他の行為」は、「リハビリテーション」「精神科専門療法」「手術」「麻酔」「放射線治療」及び「入院料等」である。

2 一般医療と老人医療別にみた診療行為の状況

(1) 入院における1件当たり点数は、一般医療 37,610.3 点、老人医療 42,105.8 点となっている。

1日当たり点数は、一般医療 2,714.6 点、老人医療 2,270.4 点で、年齢階級別にみると、「0～14 歳」3,892.6 点が最も高く、次いで「65～74 歳」2,695.9 点となっており、「75 歳以上」2,278.5 点が最も低くなっている。診療行為別の構成割合をみると、老人医療は、一般医療と比べ「入院料等」「処置」の割合が高く、「手術」「診断群分類による包括評価等」の割合は低くなっている。

1件当たり日数は、一般医療 13.86 日、老人医療 18.55 日となっている。(表3、図3・4)

表3 一般医療 - 老人医療 - 年齢階級別にみた入院の診療行為別
1件当たり点数・1日当たり点数・1件当たり日数

(平成19年6月審査分)

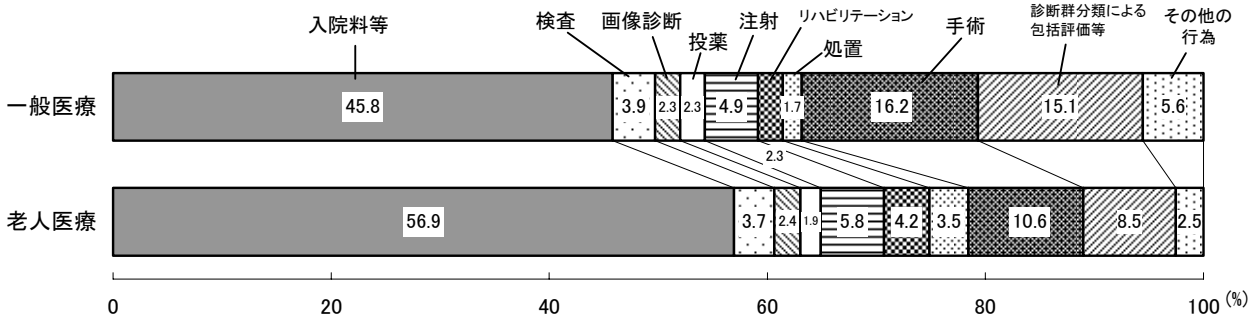
診療行為	一般医療	老人医療	年齢階級				
			0～14歳	15～39歳	40～64歳	65～74歳	75歳以上
	1 件 当 た り 点 数						
総数	37 610.3	42 105.8	28 633.2	28 550.8	39 486.9	43 659.7	41 654.6
初診	52.3	39.5	117.5	66.6	40.9	36.1	41.9
再診	346.4	303.7	132.5	305.8	370.0	391.6	295.8
理学管理	59.9	76.4	16.1	58.9	59.2	71.3	78.1
在宅医療	1 462.3	1 556.8	690.7	1 094.1	1 499.9	1 746.0	1 576.3
検査	862.7	1 010.0	259.0	512.4	898.4	1 127.4	1 023.4
画像診断	848.2	779.8	194.5	566.4	1 043.9	956.3	747.8
投薬	1 837.3	2 440.1	966.7	1 217.1	1 971.2	2 345.8	2 421.4
注射	862.8	1 762.8	277.0	369.3	887.1	1 371.0	1 778.4
リハビリテーション	300.7	96.4	4.9	267.2	419.9	261.6	66.9
精神科専門療法	642.8	1 492.2	407.9	359.9	743.2	1 272.2	1 304.9
処置	6 081.5	4 446.7	2 240.2	4 292.2	6 225.9	7 204.2	4 455.5
手術	1 093.8	442.6	981.3	1 173.6	1 051.5	998.1	431.9
麻酔	236.0	112.5	0.8	63.4	255.7	298.1	122.9
放射線治療	17 233.8	23 977.8	15 653.8	13 843.7	18 383.5	20 033.7	23 680.6
入院料等	5 690.0	3 568.5	6 689.7	4 360.2	5 637.1	5 546.3	3 628.6
診断群分類による包括評価等							
	1 日 当 た り 点 数						
総数	2 714.6	2 270.4	3 892.6	2 559.3	2 526.2	2 695.9	2 278.5
初診	3.8	2.1	16.0	6.0	2.6	2.2	2.3
再診	25.0	16.4	18.0	27.4	23.7	24.2	16.2
理学管理	4.3	4.1	2.2	5.3	3.8	4.4	4.3
在宅医療	105.5	83.9	93.9	98.1	96.0	107.8	86.2
検査	62.3	54.5	35.2	45.9	57.5	69.6	56.0
画像診断	61.2	42.0	26.4	50.8	66.8	59.0	40.9
投薬	132.6	131.6	131.4	109.1	126.1	144.8	132.4
注射	62.3	95.0	37.7	33.1	56.8	84.7	97.3
リハビリテーション	21.7	5.2	0.7	24.0	26.9	16.2	3.7
精神科専門療法	46.4	80.5	55.5	32.3	47.5	78.6	71.4
処置	438.9	239.8	304.5	384.8	398.3	444.8	243.7
手術	78.9	23.9	133.4	105.2	67.3	61.6	23.6
麻酔	17.0	6.1	0.1	5.7	16.4	18.4	6.7
放射線治療	1 243.9	1 292.9	2 128.1	1 241.0	1 176.1	1 237.0	1 295.3
入院料等	410.7	192.4	909.4	390.9	360.6	342.5	198.5
診断群分類による包括評価等							
	1 件 当 た り 日 数						
	13.86	18.55	7.36	11.16	15.63	16.19	18.28
入院時食事療養等(単位:円)							
1件当たり金額	23 584	32 865	9 559	18 087	27 341	28 736	32 103
1日当たり金額	1 702	1 772	1 300	1 621	1 749	1 774	1 756

注: 1) 「一般医療」及び「老人医療」には、年齢不詳を含む。

2) 「総数」には「入院時食事療養等」を含まない。

図3 一般医療・老人医療別にみた入院の診療行為別1日当たり点数の構成割合

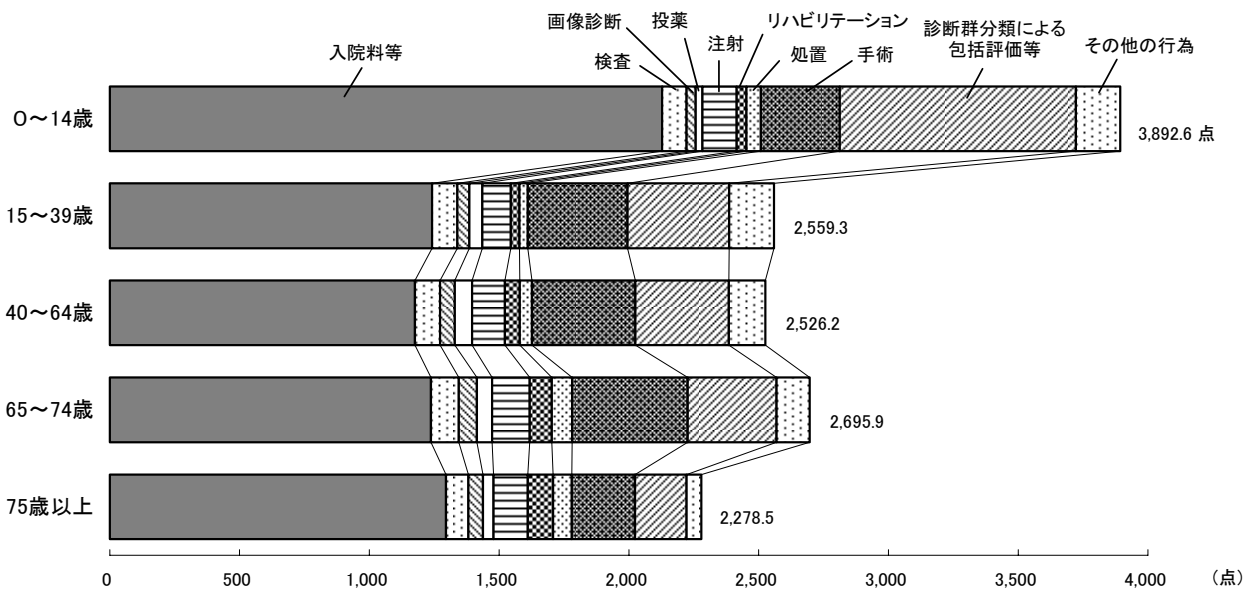
(平成19年6月審査分)



注:「その他の行為」は、「初・再診」「医学管理等」「在宅医療」「精神科専門療法」「麻酔」及び「放射線治療」である。

図4 年齢階級別にみた入院の診療行為別1日当たり点数

(平成19年6月審査分)



注:「その他の行為」は、「初・再診」「医学管理等」「在宅医療」「精神科専門療法」「麻酔」及び「放射線治療」である。

(2) 入院外における1件当たり点数は、一般医療 1,101.2 点、老人医療 1,646.1 点となっている。

1日当たり点数は、一般医療 658.8 点、老人医療 733.8 点で、年齢階級別にみると、「40～64 歳」776.4 点が最も高く、次いで「65～74 歳」726.9 点となっており、「0～14 歳」493.3 点が最も低くなっている。診療行為別の構成割合をみると、老人医療は、一般医療と比べ「在宅医療」「処置」の割合が高く、「初・再診」「検査」の割合は低くなっている。

1件当たり日数は、一般医療 1.67 日、老人医療 2.24 日となっている。(表4、図5・6)

表4 一般医療 - 老人医療 - 年齢階級別にみた入院外の診療行為別
1件当たり点数・1日当たり点数・1件当たり日数

(平成19年6月審査分)

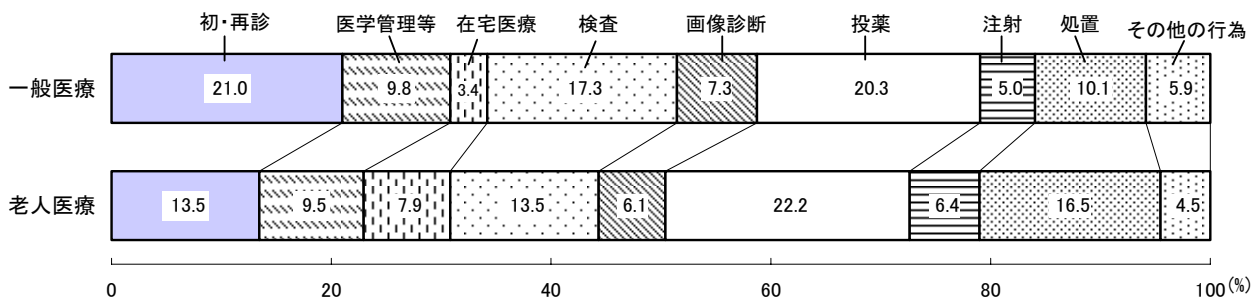
診療行為	一般医療	老人医療	年齢階級				
			0～14歳	15～39歳	40～64歳	65～74歳	75歳以上
1 件 当 た り 点 数							
総数	1 101.2	1 646.1	787.7	871.5	1 304.5	1 421.6	1 493.7
初・再診	231.2	221.5	299.4	240.6	210.6	208.1	220.7
医学管理等	108.2	156.0	144.5	31.0	116.4	147.9	150.0
在宅医療	37.0	129.7	37.7	28.0	45.5	51.4	119.8
検査	190.3	222.5	94.8	182.6	214.6	231.0	219.4
画像診断	80.0	100.3	30.8	64.1	96.3	106.0	98.5
投薬	223.5	365.5	108.8	152.6	264.0	316.1	363.0
注射	55.2	104.7	7.1	35.0	75.2	83.2	101.6
リハビリテーション	7.4	12.0	6.6	4.8	8.1	10.8	10.9
精神科専門療法	25.8	16.3	3.6	52.4	28.6	15.3	14.5
処置	111.1	271.0	37.0	60.5	207.1	207.2	150.9
手術	23.9	33.5	17.1	16.1	28.9	30.2	32.1
麻酔	3.9	11.4	0.2	1.9	4.0	9.0	11.1
放射線治療	3.5	1.7	-	1.8	5.0	5.3	1.2
1 日 当 た り 点 数							
総数	658.8	733.8	493.3	590.0	776.4	726.9	675.1
初・再診	138.3	98.8	187.5	162.9	125.4	106.4	99.8
医学管理等	64.7	69.6	90.5	21.0	69.3	75.6	67.8
在宅医療	22.1	57.8	23.6	18.9	27.1	26.3	54.1
検査	113.9	99.2	59.4	123.6	127.7	118.1	99.2
画像診断	47.9	44.7	19.3	43.4	57.3	54.2	44.5
投薬	133.7	162.9	68.2	103.3	157.1	161.6	164.1
注射	33.0	46.7	4.5	23.7	44.7	42.6	45.9
リハビリテーション	4.5	5.3	4.1	3.3	4.8	5.5	4.9
精神科専門療法	15.4	7.3	2.2	35.5	17.0	7.8	6.5
処置	66.4	120.8	23.2	40.9	123.3	105.9	68.2
手術	14.3	14.9	10.7	10.9	17.2	15.4	14.5
麻酔	2.3	5.1	0.1	1.3	2.4	4.6	5.0
放射線治療	2.1	0.7	-	1.2	3.0	2.7	0.5
1 件 当 た り 日 数							
	1.67	2.24	1.60	1.48	1.68	1.96	2.21

注: 1)「一般医療」及び「老人医療」には、年齢不詳を含む。

2)「総数」には「入院料等(短期滞在手術基本料1)」を含む。

図5 一般医療・老人医療別にみた入院外の診療行為別1日当たり点数の構成割合

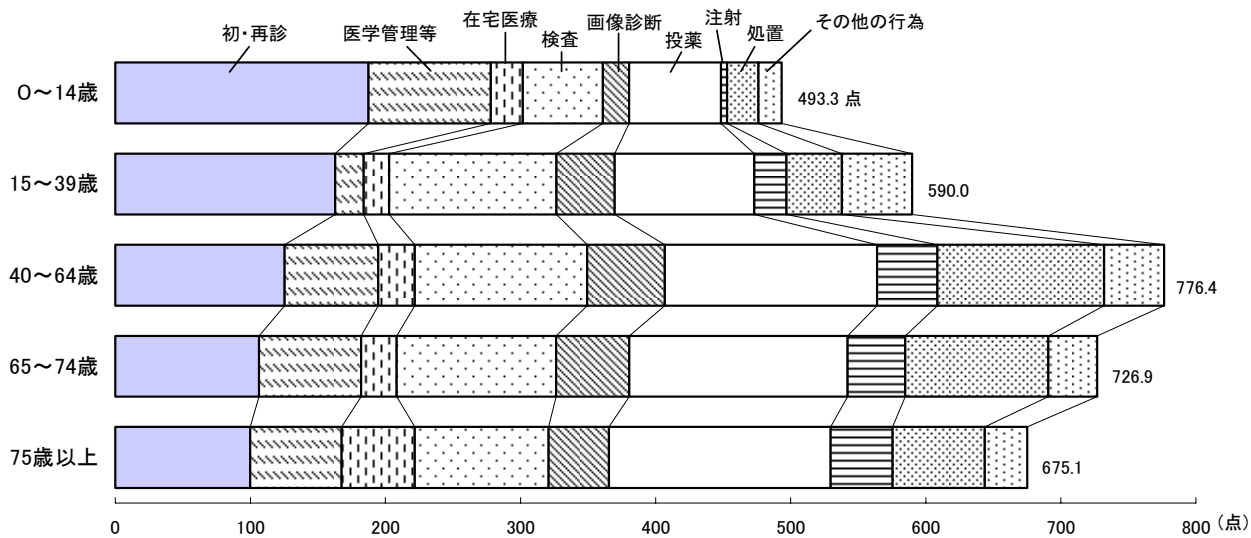
(平成19年6月審査分)



注:「その他の行為」は、「リハビリテーション」「精神科専門療法」「手術」「麻酔」「放射線治療」及び「入院料等」である。

図6 年齢階級別にみた入院外の診療行為別1日当たり点数

(平成19年6月審査分)



注:「その他の行為」は、「リハビリテーション」「精神科専門療法」「手術」「麻酔」「放射線治療」及び「入院料等」である。

3 病院と診療所別にみた診療行為の状況

(1) 入院における1件当たり点数は、病院 41,401.3 点、診療所(有床)16,569.5 点となっている。

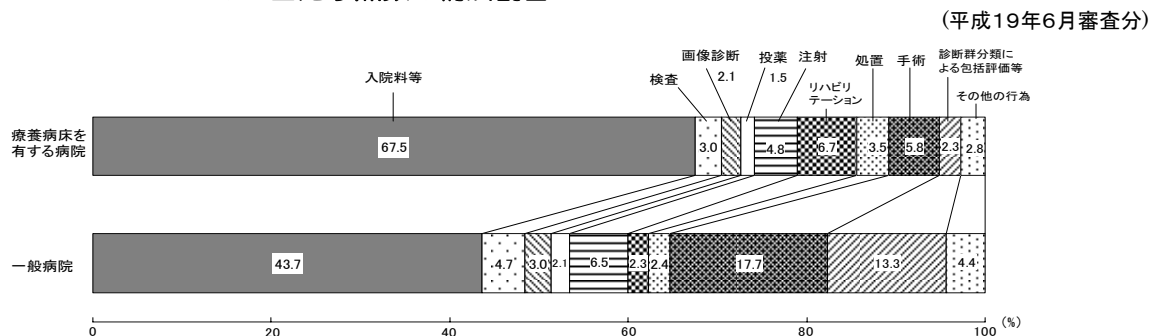
1日当たり点数は、病院 2,535.8 点、診療所(有床)1,412.1 点で、病院を種類別にみると、「特定機能病院」4,571.6 点が最も高く、「精神科病院」1,143.1 点が最も低くなっている。診療行為別の構成割合をみると、「療養病床を有する病院」は、「一般病院」と比べ「入院料等」の割合が高くなっており、1件当たり日数は、それぞれ 20.15 日、12.60 日となっている。(表5、図7)

表5 病院・診療所(有床)別にみた入院の診療行為別1件当たり点数・1日当たり点数・1件当たり日数

診療行為	病院					診療所(有床)
	総数	精神科病院	特定機能病院	療養病床を有する病院	一般病院	
(平成19年6月審査分)						
1 件 当 た り 点 数						
総数*	41 401.3	32 449.4	54 161.1	40 891.4	41 981.9	16 569.5
初診	47.7	5.2	41.0	43.9	58.0	29.6
再診	341.1	125.7	315.9	348.0	378.8	135.1
医学管理	70.8	0.2	104.0	48.6	91.9	22.7
在宅医療	1 538.1	353.7	984.4	1 219.1	1 975.9	1 072.4
検査	971.6	41.7	352.0	878.6	1 251.1	378.5
画像診断	833.8	1 225.7	720.1	624.6	885.2	589.6
投薬	2 175.0	167.6	1 248.2	1 969.9	2 739.0	1 296.3
注射	1 346.8	10.1	422.7	2 738.9	947.5	325.4
リハビリテーション	222.1	1 576.9	57.9	110.8	53.5	5.0
精神科専門療法	1 019.9	178.1	454.5	1 436.3	1 009.4	1 201.7
処置	5 436.6	1.9	11 545.6	2 351.9	7 419.3	3 925.4
手術	824.9	0.0	2 114.0	390.3	1 071.1	396.0
麻酔	191.7	-	572.2	185.7	190.6	13.7
放射線治療	21 311.9	28 762.6	4 905.5	27 587.6	18 332.9	7 177.9
入院料等	5 069.4	-	30 325.9	957.1	5 577.4	-
診断群分類による包括評価等	-	-	-	-	-	-
1 日 当 た り 点 数						
総数*	2 535.8	1 143.1	4 571.6	2 029.5	3 332.7	1 412.1
初診	2.9	0.2	3.5	2.2	4.6	2.5
再診	20.9	4.4	26.7	17.3	30.1	11.5
医学管理	4.3	0.0	8.8	2.4	7.3	1.9
在宅医療	94.2	12.5	83.1	60.5	156.9	91.4
検査	59.5	1.5	29.7	43.6	99.3	32.3
画像診断	51.1	43.2	60.8	31.0	70.3	50.2
投薬	133.2	5.9	105.4	97.8	217.4	110.5
注射	82.5	0.4	35.7	135.9	75.2	27.7
リハビリテーション	13.6	55.5	4.9	5.5	4.3	0.4
精神科専門療法	62.5	6.3	38.4	71.3	80.1	102.4
処置	333.0	0.1	974.5	116.7	589.0	334.5
手術	50.5	0.0	178.4	19.4	85.0	33.8
麻酔	11.7	-	48.3	9.2	15.1	1.2
放射線治療	1 305.3	1 013.2	414.1	1 369.2	1 455.3	611.7
入院料等	310.5	-	2 559.7	47.5	442.8	-
診断群分類による包括評価等	-	-	-	-	-	-
1 件 当 た り 日 数						
	16.33	28.39	11.85	20.15	12.60	11.73
入院時食事療養等(単位:円)						
1件当たり金額	28 604	54 629	18 639	37 367	20 314	17 656
1日当たり金額	1 752	1 924	1 573	1 855	1 613	1 505

注:「総数*」には「入院時食事療養等」を含まない。

図7 療養病床を有する病院・一般病院別にみた入院の診療行為別1日当たり点数の構成割合



注:「その他の行為」は、「初・再診」「医学管理等」「在宅医療」「精神科専門療法」「麻酔」及び「放射線治療」である。

(2) 入院外における1件当たり点数は、病院 1,513.8 点、診療所 1,111.6 点となっている。

1日当たり点数は、病院 954.0 点、診療所 587.5 点で、病院を種類別にみると、「特定機能病院」1,308.0 点が最も高く、「療養病床を有する病院」785.9 点が最も低くなっている。診療行為別の構成割合をみると、診療所は、病院と比べ「初・再診」「医学管理等」の割合が高く、「検査」「画像診断」の割合は低くなっている。

1件当たり日数は、病院 1.59 日、診療所 1.89 日となっている。(表6、図8)

表6 病院・診療所別にみた入院外の診療行為別1件当たり点数・1日当たり点数・1件当たり日数

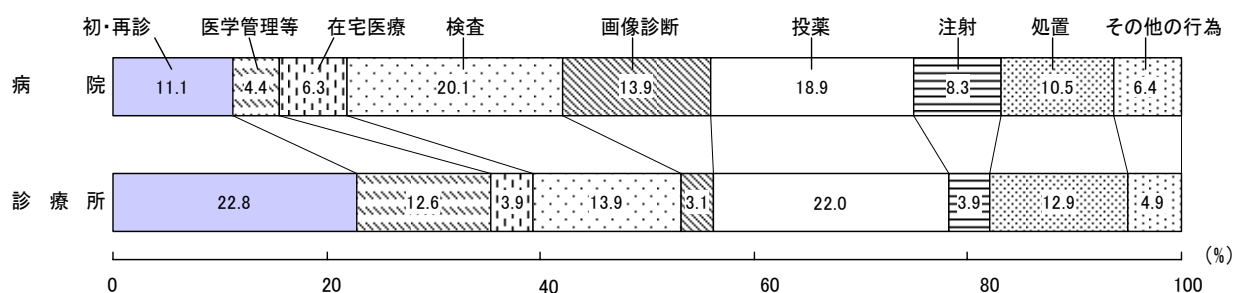
(平成19年6月審査分)

診療行為	病 院					診療所
	総 数	精神科病院	特定機能病院	療養病床を有する病院	一般病院	
	1 件 当 た り 点 数					
総 数 *	1 513.8	1 678.1	1 736.9	1 431.0	1 515.5	1 111.6
初・再診	168.8	151.1	115.6	194.5	164.9	253.4
医学管理等	67.3	30.9	41.9	83.1	65.2	140.3
在宅医療	95.9	7.6	160.9	82.1	97.8	43.3
検査	304.9	55.0	426.4	238.6	329.2	154.4
画像診断	210.2	12.6	271.6	166.7	229.6	33.9
投薬	286.6	603.8	303.8	255.7	284.1	244.2
注射	125.1	10.9	294.2	94.2	123.1	43.1
リハビリテーション	15.0	0.1	3.3	28.3	11.5	5.8
精神科専門療法	35.2	804.6	23.0	16.1	12.0	18.9
処置	158.6	0.6	20.7	234.9	149.4	143.9
手術	33.9	0.0	37.8	28.9	37.0	23.0
麻酔	4.3	0.7	6.5	4.5	4.1	6.2
放射線治療	8.0	-	31.0	3.5	7.5	1.1
	1 日 当 た り 点 数					
総 数 *	954.0	802.7	1 308.0	785.9	1 012.0	587.5
初・再診	106.4	72.3	87.0	106.8	110.1	133.9
医学管理等	42.4	14.8	31.6	45.7	43.5	74.2
在宅医療	60.4	3.6	121.2	45.1	65.3	22.9
検査	192.2	26.3	321.1	131.1	219.8	81.6
画像診断	132.4	6.0	204.5	91.5	153.3	17.9
投薬	180.6	288.8	228.8	140.4	189.7	129.1
注射	78.8	5.2	221.6	51.7	82.2	22.8
リハビリテーション	9.5	0.1	2.5	15.5	7.7	3.1
精神科専門療法	22.2	384.9	17.3	8.8	8.0	10.0
処置	99.9	0.3	15.6	129.0	99.7	76.0
手術	21.4	0.0	28.5	15.9	24.7	12.1
麻酔	2.7	0.4	4.9	2.5	2.7	3.3
放射線治療	5.0	-	23.3	1.9	5.0	0.6
	1 件 当 た り 日 数					
	1.59	2.09	1.33	1.82	1.50	1.89

注:「総数*」には「入院料等(短期滞在手術基本料1)」を含む。

図8 病院・診療所別にみた入院外の診療行為別1日当たり点数の構成割合

(平成19年6月審査分)



注:「その他の行為」は、「リハビリテーション」「精神科専門療法」「手術」「麻酔」「放射線治療」及び「入院料等」である。

4 DPCに係る明細書とDPCに係る明細書以外別にみた診療行為の状況

入院におけるDPCに係る明細書をみると、1件当たり点数は、51,081.3点で、前年に比べ1,499.1点、3.0%増加している。

1日当たり点数は、4,795.7点で、前年に比べ147.0点、3.2%増加している。

1件当たり日数は、10.65日で、前年に比べ0.02日減少している。(表7、図9・10)

表7 DPCに係る明細書 - DPCに係る明細書以外別にみた入院の診療行為別
1件当たり点数・1日当たり点数・1件当たり日数

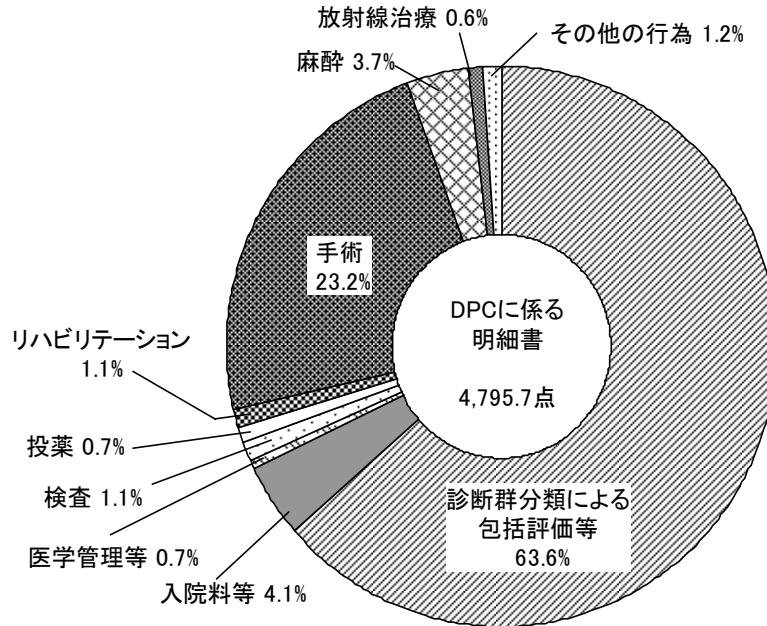
(各年6月審査分)

診療行為	平成19年(2007)		平成18年(2006)		増減点数		増減率(%)	
	DPCに係る明細書	DPCに係る明細書以外	DPCに係る明細書	DPCに係る明細書以外	DPCに係る明細書	DPCに係る明細書以外	DPCに係る明細書	DPCに係る明細書以外
	1 件 当 たり 点 数							
総 数	51 081.3	37 735.0	49 582.1	35 802.4	1 499.1	1 932.6	3.0	5.4
初 ・ 再 診	62.8	43.6	54.4	41.0	8.4	2.6	15.4	6.4
医 学 管 理 等	350.2	322.8	314.2	298.6	36.0	24.2	11.5	8.1
在 宅 医 療	105.0	61.1	108.8	54.7	△ 3.8	6.4	△ 3.5	11.7
検 査	546.2	1 668.7	575.7	1 602.5	△ 29.5	66.2	△ 5.1	4.1
画 像 診 断	94.3	1 072.3	95.2	972.4	△ 0.9	100.0	△ 0.9	10.3
投 薬	369.1	892.9	328.0	834.3	41.1	58.5	12.5	7.0
注 射	128.0	2 451.2	183.1	2 350.7	△ 55.1	100.5	△ 30.1	4.3
リハビリテーション	582.6	1 393.5	471.5	1 144.1	111.0	249.4	23.5	21.8
精神科専門療法	7.7	240.8	6.4	206.3	1.4	34.5	21.4	16.7
処 置	214.6	1 171.5	213.0	1 071.4	1.6	100.0	0.8	9.3
手 術	11 844.7	4 225.0	11 814.6	3 954.5	30.1	270.5	0.3	6.8
麻 酔	1 884.8	609.9	1 840.4	680.5	44.5	△ 70.6	2.4	△ 10.4
放 射 線 治 療	326.7	154.3	435.4	101.8	△ 108.7	52.4	△ 25.0	51.5
入 院 料 等	2 083.3	23 427.4	1 707.1	22 489.5	376.2	937.9	22.0	4.2
診断群分類による 包括評価等	32 482.1	.	31 434.3	.	1 047.8	.	3.3	.
	1 日 当 たり 点 数							
総 数	4 795.7	2 230.6	4 648.6	2 157.7	147.0	72.9	3.2	3.4
初 ・ 再 診	5.9	2.6	5.1	2.5	0.8	0.1	15.5	4.4
医 学 管 理 等	32.9	19.1	29.5	18.0	3.4	1.1	11.6	6.0
在 宅 医 療	9.9	3.6	10.2	3.3	△ 0.3	0.3	△ 3.4	9.6
検 査	51.3	98.6	54.0	96.6	△ 2.7	2.1	△ 5.0	2.1
画 像 診 断	8.9	63.4	8.9	58.6	△ 0.1	4.8	△ 0.8	8.2
投 薬	34.6	52.8	30.7	50.3	3.9	2.5	12.7	5.0
注 射	12.0	144.9	17.2	141.7	△ 5.1	3.2	△ 30.0	2.3
リハビリテーション	54.7	82.4	44.2	68.9	10.5	13.4	23.7	19.5
精神科専門療法	0.7	14.2	0.6	12.4	0.1	1.8	21.6	14.5
処 置	20.1	69.2	20.0	64.6	0.2	4.7	0.9	7.2
手 術	1 112.0	249.7	1 107.7	238.3	4.3	11.4	0.4	4.8
麻 酔	177.0	36.1	172.5	41.0	4.4	△ 5.0	2.6	△ 12.1
放 射 線 治 療	30.7	9.1	40.8	6.1	△ 10.2	3.0	△ 24.9	48.6
入 院 料 等	195.6	1 384.8	160.0	1 355.4	35.5	29.5	22.2	2.2
診断群分類による 包括評価等	3 049.5	.	2 947.2	.	102.4	.	3.5	.
	1 件 当 たり 日 数							
	10.65	16.92	10.67	16.59				

注：DPCに係る明細書とは、医科入院医療機関別包括評価用診療報酬明細書(以下、「DPC明細書」という。)及びDPC明細書に総括された医科入院用診療報酬明細書である。

図9 診療行為別にみたDPCに係る明細書の1日当たり点数の構成割合

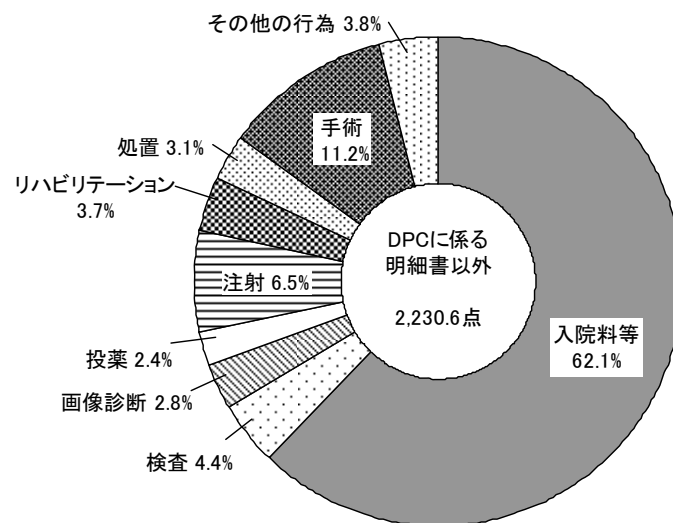
(平成19年6月審査分)



- 注：1) DPCに係る明細書とは、医科入院医療機関別包括評価用診療報酬明細書(以下、「DPC明細書」という。)及びDPC明細書に総括された医科入院用診療報酬明細書である。
 2) 「その他の行為」は、「初・再診」「在宅医療」「画像診断」「注射」「精神科専門療法」及び「処置」である。

図10 診療行為別にみたDPCに係る明細書以外の1日当たり点数の構成割合

(平成19年6月審査分)



- 注：1) DPCに係る明細書とは、医科入院医療機関別包括評価用診療報酬明細書(以下、「DPC明細書」という。)及びDPC明細書に総括された医科入院用診療報酬明細書である。
 2) 「その他の行為」は、「初・再診」「医学管理等」「在宅医療」「精神科専門療法」「麻酔」及び「放射線治療」である。

5 傷病分類別にみた1日当たり点数

入院における傷病分類別1日当たり点数は、「VII 眼及び付属器の疾患」が一般医療、老人医療ともに最も高く、それぞれ5,715.9点、5,802.4点となっている。

入院外では、「XIV 腎尿路生殖器系の疾患」が一般医療、老人医療ともに最も高く、それぞれ1,594.9点、2,237.6点となっている。(表8)

表8 入院 - 入院外・一般医療 - 老人医療別にみた傷病分類別1日当たり点数

傷病分類	入 院		入 院 外	
	一般医療	老人医療	一般医療	老人医療
総 数	2 714.6	2 270.4	658.8	733.8
I 感染症及び寄生虫症	2 970.1	2 530.9	577.8	608.6
II 新生物	4 012.3	3 186.2	1 590.4	1 665.3
胃の悪性新生物 (再掲)	3 823.0	3 573.7	1 409.7	1 117.0
気管、気管支及び肺の悪性新生物 (再掲)	3 603.9	3 019.5	1 987.4	1 664.9
III 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	3 454.5	3 257.8	907.6	1 464.5
IV 内分泌、栄養及び代謝疾患	2 437.7	2 003.5	924.8	863.9
糖尿病 (再掲)	2 380.4	1 963.5	1 072.8	1 035.8
V 精神及び行動の障害	1 187.4	1 179.1	648.7	642.8
統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 (再掲)	1 149.5	1 110.1	783.4	662.9
VI 神経系の疾患	2 114.9	1 748.7	676.0	785.4
VII 眼及び付属器の疾患	5 715.9	5 802.4	534.6	607.8
白内障 (再掲)	6 053.3	6 237.9	629.9	645.4
VIII 耳及び乳様突起の疾患	3 747.2	2 248.0	396.2	394.3
IX 循環器系の疾患	4 093.9	2 345.4	723.8	675.1
高血圧性疾患 (再掲)	2 464.6	1 565.3	692.8	649.1
虚血性心疾患 (再掲)	10 265.8	3 939.8	851.7	728.3
脳梗塞 (再掲)	2 682.4	1 926.5	824.2	664.8
X 呼吸器系の疾患	3 308.5	2 488.4	473.1	769.4
肺炎 (再掲)	3 108.0	2 630.0	746.8	940.5
急性気管支炎及び急性細気管支炎 (再掲)	3 337.1	1 862.5	474.5	601.1
喘息 (再掲)	2 877.2	2 249.2	545.1	682.0
X I 消化器系の疾患	3 542.8	2 596.2	738.9	653.4
X II 皮膚及び皮下組織の疾患	2 909.6	1 984.7	396.3	395.4
皮膚炎及び湿疹 (再掲)	2 660.4	2 474.1	390.6	339.7
X III 筋骨格系及び結合組織の疾患	3 219.5	2 179.8	391.4	356.6
関節症 (再掲)	4 511.8	2 783.5	361.3	355.3
X IV 腎尿路生殖器系の疾患	3 280.3	2 634.8	1 594.9	2 237.6
腎不全 (再掲)	3 138.5	2 672.5	3 162.1	3 012.1
尿路結石症 (再掲)	5 050.4	3 276.2	1 137.9	1 015.7
X V 妊娠、分娩及び産じょく	2 892.0	-	502.2	-
X IX 損傷、中毒及びその他の外因の影響	2 960.9	2 360.9	490.3	482.9
骨折 (再掲)	2 694.4	2 343.4	510.0	483.3
その他の傷病	3 914.9	2 177.4	708.0	717.8

注:1) 傷病分類は、「疾病、傷害及び死因の統計分類」(ICD-10(2003年版))を準用した。

2) 「その他の傷病」は、「周産期に発生した病態」「先天奇形、変形及び染色体異常」及び「症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの」である。

〔歯科診療〕

6 診療行為の状況

1件当たり点数は、1,339.8点で、前年に比べ83.9点、6.7%増加している。

1日当たり点数は、606.8点で、前年に比べ25.6点、4.4%増加している。診療行為別にみると、「歯冠修復及び欠損補綴」280.4点(構成割合46.2%)が最も高く、次いで「処置」102.2点(16.8%)、「初・再診」69.2点(11.4%)の順となっている。

1件当たり日数は2.21日で、前年に比べ0.05日増加している。(表9、図11)

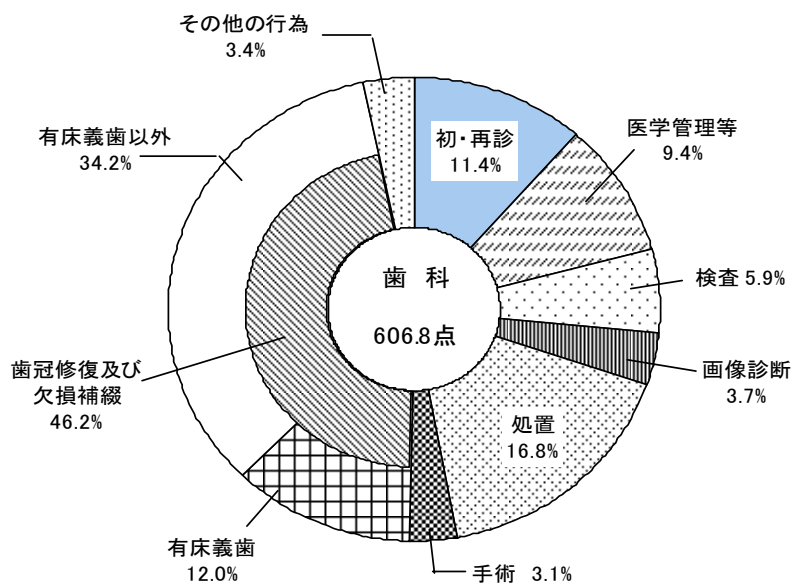
表9 診療行為別にみた1件当たり点数・1日当たり点数・1件当たり日数

(各年6月審査分)

診療行為	1件当たり点数				1日当たり点数			
	平成19年 (2007)	平成18年 (2006)	対前年		平成19年 (2007)	平成18年 (2006)	対前年	
			増減点数	増減率(%)			増減点数	増減率(%)
総数	1 339.8	1 255.8	83.9	6.7	606.8	581.2	25.6	4.4
初・再診	152.7	146.5	6.2	4.3	69.2	67.8	1.4	2.0
医学管理等	126.0	126.9	△ 0.9	△ 0.7	57.1	58.7	△ 1.7	△ 2.8
在宅医療	10.0	9.1	0.9	9.7	4.5	4.2	0.3	7.4
検査	79.7	78.2	1.5	1.9	36.1	36.2	△ 0.1	△ 0.3
画像診断	49.1	46.7	2.3	5.0	22.2	21.6	0.6	2.7
投薬	23.5	22.3	1.1	5.1	10.6	10.3	0.3	2.8
注射	1.1	1.2	△ 0.0	△ 0.5	0.5	0.5	△ 0.0	△ 2.7
リハビリテーション	0.1	0.1	0.0	33.4	0.1	0.0	0.0	30.5
処置	225.6	198.5	27.2	13.7	102.2	91.8	10.3	11.3
手術	41.3	42.0	△ 0.7	△ 1.7	18.7	19.4	△ 0.7	△ 3.8
麻酔	2.9	2.9	△ 0.1	△ 2.1	1.3	1.4	△ 0.1	△ 4.2
放射線治療	0.2	0.2	0.0	1.7	0.1	0.1	△ 0.0	△ 0.5
歯冠修復及び欠損補綴	619.2	572.5	46.7	8.2	280.4	265.0	15.5	5.8
歯科矯正	0.4	1.4	△ 1.0	△ 71.0	0.2	0.6	△ 0.5	△ 71.6
入院料等	7.9	7.3	0.6	8.2	3.6	3.4	0.2	5.9
(1件当たり日数)	(2.21)	(2.16)						

図11 診療行為別にみた1日当たり点数の構成割合

(平成19年6月審査分)



注: 「その他の行為」は、「在宅医療」「投薬」「注射」「リハビリテーション」「麻酔」「放射線治療」「歯科矯正」及び「入院料等」である。

7 一般医療と老人医療別にみた診療行為の状況

1件当たり点数は、一般医療 1,288.4 点、老人医療 1,718.7 点となっている。

1日当たり点数は、一般医療 593.5 点、老人医療 692.4 点で、年齢階級別にみると、「75歳以上」688.6 点が最も高く、次いで「65～74歳」622.4 点となっており、「0～14歳」476.2 点が最も低くなっている。診療行為別の構成割合をみると、老人医療は、一般医療と比べ「歯冠修復及び欠損補綴」の割合が高く、「処置」の割合が低くなっている。

1件当たり日数は、一般医療 2.17 日、老人医療 2.48 日となっている。(表 10、図 12)

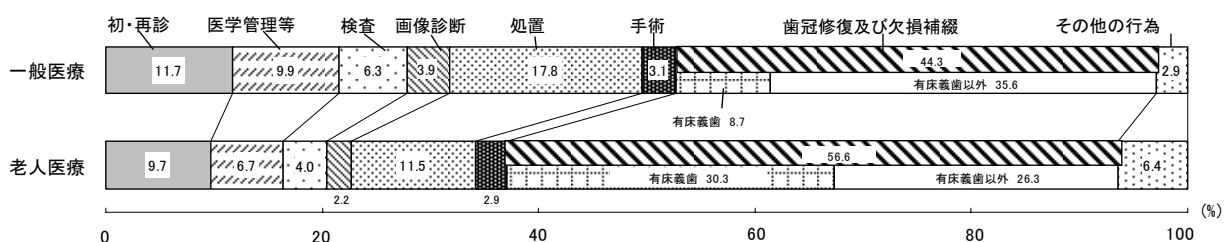
表 10 一般医療 - 老人医療 - 年齢階級別にみた診療行為別 1 件当たり点数・1 日当たり点数・1 件当たり日数

(平成19年6月審査分)

診療行為	一般医療	老人医療	年齢階級				
			0～14歳	15～39歳	40～64歳	65～74歳	75歳以上
1 件 当 た り 点 数							
総初診	1 288.4	1 718.7	774.0	1 228.5	1 392.0	1 557.6	1 719.8
・再診	150.7	167.5	166.8	149.3	145.5	154.0	165.2
・学管再理	127.5	115.1	109.5	130.0	131.7	128.1	115.2
在宅医療	3.1	60.9	0.5	3.1	3.5	13.6	51.2
検査	81.1	69.0	22.5	95.5	91.2	85.2	69.2
画像診断	50.5	38.4	27.9	68.7	50.7	43.8	38.4
投薬	22.9	27.4	6.4	25.6	25.1	27.2	28.1
注射	1.0	2.2	0.1	1.1	1.1	1.4	2.3
リハビリテーション	0.1	0.4	0.1	0.1	0.1	0.1	0.4
処置	229.5	197.4	100.6	253.1	256.0	236.7	200.8
手術	40.2	49.3	21.5	41.0	43.9	46.5	48.6
麻酔	3.0	2.2	1.4	5.1	2.7	2.0	2.2
放射線治療	0.1	0.6	-	0.0	0.1	0.2	0.7
歯冠修復及び欠損補綴	571.3	972.4	313.7	445.8	633.4	809.8	981.6
歯科矯正	0.5	0.0	0.7	1.4	0.0	0.0	-
入院料等	6.9	15.9	2.3	8.7	6.7	9.1	15.9
1 日 当 た り 点 数							
総初診	593.5	692.4	476.2	595.7	611.4	622.4	688.6
・再診	69.4	67.5	102.6	72.4	63.9	61.5	66.1
・学管再理	58.7	46.4	67.4	63.0	57.9	51.2	46.1
在宅医療	1.4	24.5	0.3	1.5	1.6	5.5	20.5
検査	37.4	27.8	13.8	46.3	40.0	34.0	27.7
画像診断	23.3	15.5	17.2	33.3	22.3	17.5	15.4
投薬	10.6	11.0	4.0	12.4	11.0	10.9	11.3
注射	0.5	0.9	0.0	0.6	0.5	0.6	0.9
リハビリテーション	0.0	0.2	0.1	0.1	0.0	0.0	0.2
処置	105.7	79.5	61.9	122.7	112.4	94.6	80.4
手術	18.5	19.9	13.3	19.9	19.3	18.6	19.5
麻酔	1.4	0.9	0.9	2.5	1.2	0.8	0.9
放射線治療	0.0	0.2	-	0.0	0.1	0.1	0.3
歯冠修復及び欠損補綴	263.2	391.8	193.0	216.2	278.2	323.6	393.0
歯科矯正	0.2	0.0	0.4	0.7	0.0	0.0	-
入院料等	3.2	6.4	1.4	4.2	2.9	3.6	6.3
1 件 当 た り 日 数							
	2.17	2.48	1.63	2.06	2.28	2.50	2.50

図 12 一般医療 - 老人医療別にみた診療行為別 1 日当たり点数の構成割合

(平成19年6月審査分)



注: 「その他の行為」は、「在宅医療」「投薬」「注射」「リハビリテーション」「麻酔」「放射線治療」「歯科矯正」及び「入院料等」である。

8 傷病分類別にみた1日当たり点数

1日当たり点数は、一般医療では「顎、口腔の嚢胞」が最も高く、1,996.9点となっており、次いで「顎骨疾患等」が1,465.3点となっている。また、老人医療では「新生物」が最も高く、2,099.3点となっており、次いで「顎、口腔の嚢胞」が1,629.6点となっている。(表11)

表11 一般医療 - 老人医療別にみた傷病分類別1日当たり点数
(平成19年6月審査分)

傷病分類	一般医療	老人医療
総数	593.5	692.4
う蝕	609.8	736.0
感染を伴わない歯牙慢性硬組織疾患	253.8	111.9
歯髄炎等	544.7	715.6
根尖性歯周炎(歯根膜炎)等	514.8	520.2
歯肉炎	481.2	318.9
歯周炎等	533.3	597.2
歯冠周囲炎	406.5	373.5
顎、口腔の炎症及び膿瘍	959.8	1 313.5
顎、口腔の先天奇形及び発育障害	694.5	601.3
顎機能異常	614.2	455.3
顎、口腔の嚢胞	1 996.9	1 629.6
顎骨疾患等	1 465.3	279.5
口腔粘膜疾患	264.2	385.5
新生物	1 267.9	2 099.3
口腔、顔面外傷及び癒合障害等	612.4	658.7
補綴関係(歯の補綴)	895.7	812.1
その他	822.5	878.5

注：傷病分類は、「疾病、傷害及び死因の統計分類」(ICD-10(2003年版))を準用した。

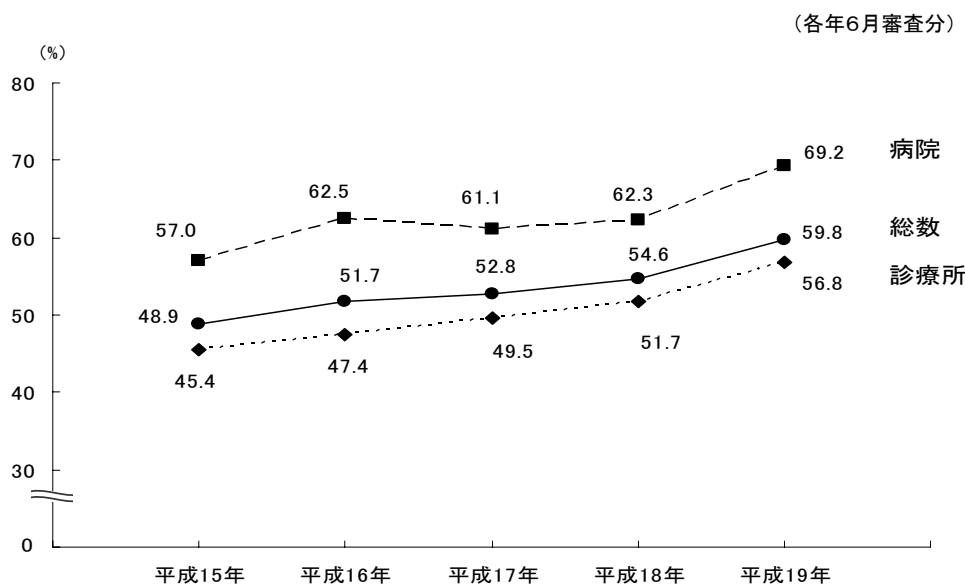
〔院外処方〕

9 院外処方率

医科の入院外における院外処方率は、総数で59.8%となっており、前年に比べ5.2ポイント上昇している。これを病院・診療所別にみると、病院69.2%、診療所56.8%となっており、前年に比べそれぞれ6.9ポイント、5.1ポイント上昇している。

病院を種類別にみると、「特定機能病院」74.3%が最も高く、診療所の診療科目別では、「耳鼻いんこう科」74.8%が最も高くなっている。（表12、図13）

図13 病院 - 診療所別にみた医科の院外処方率の年次推移



注: 院外処方率 = $\frac{\text{処方せん料の算定回数}}{(\text{処方料} + \text{処方せん料})\text{の算定回数}} \times 100$

表12 病院の種類 - 診療所の診療科目別院外処方率

(各年6月審査分)

	平成19年 (2007)	平成18年 (2006)	増減
医科総数	59.8	54.6	5.2
病院	69.2	62.3	6.9
精神科病院	37.2	38.6	△ 1.4
特定機能病院	74.3	71.1	3.2
療養病床を有する病院	72.1	57.7	14.5
一般病院	69.4	65.8	3.6
診療所	56.8	51.7	5.1
内科	52.9	47.6	5.3
精神科又は神経科	72.8	67.8	5.0
小児科	64.3	61.9	2.3
外科	49.3	43.5	5.9
整形外科	55.9	49.4	6.5
皮膚科	63.2	63.6	△ 0.4
泌尿器科	55.0	52.9	2.1
産婦人科	26.8	23.9	2.9
眼科	66.3	59.8	6.5
耳鼻いんこう科	74.8	66.2	8.6
その他	59.3	55.7	3.6

注:「その他」は、主として人工透析を行っている診療所、または、主たる診療科目が「内科」から「耳鼻いんこう科」以外の診療所である。

〔薬局調剤〕

10 調剤行為の状況

1件当たり点数は 1,000.4 点で、前年に比べ 41.4 点、4.3%増加している。

処方せんの受付1回当たり点数は 710.5 点で、前年に比べ 44.0 点、6.6%増加している。調剤行為別にみると、「薬剤料」518.2 点が最も高く、次いで「調剤技術料」153.9 点、「薬学管理料」37.3 点となっている。

1件当たり受付回数は1.41 回で、前年に比べ0.03 回減少している。(表13、図14)

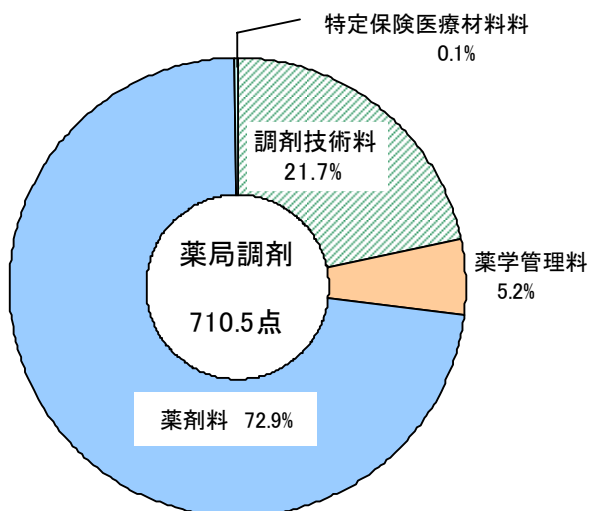
表13 調剤行為別にみた1件当たり点数・受付1回当たり点数・1件当たり受付回数

(各年6月審査分)

調剤行為	平成19年 (2007)	平成18年 (2006)	対前年	
			増減点数	増減率(%)
1 件 当 たり 点 数				
総 数	1 000.4	959.0	41.4	4.3
調 剤 技 術 料	216.7	219.8	△ 3.0	△ 1.4
薬 学 管 理 料	52.5	52.8	△ 0.3	△ 0.6
薬 剤 料	729.6	685.3	44.3	6.5
特定保険医療材料料	1.5	0.9	0.5	58.3
受 付 1 回 当 たり 点 数				
総 数	710.5	666.5	44.0	6.6
調 剤 技 術 料	153.9	152.8	1.2	0.8
薬 学 管 理 料	37.3	36.7	0.6	1.5
薬 剤 料	518.2	476.3	41.9	8.8
特定保険医療材料料	1.0	0.6	0.4	61.8
1 件 当 たり 受 付 回 数				
	1.41	1.44		

図14 調剤行為別にみた受付1回当たり点数の構成割合

(平成19年6月審査分)



1.1 一般医療と老人医療別にみた調剤行為の状況

1件当たり点数は、一般医療 867.1 点、老人医療 1,421.3 点、受付1回当たり点数は、一般医療 637.3 点、老人医療 912.6 点となっており、いずれも老人医療が高くなっている。受付1回当たり点数の調剤行為別の構成割合をみると、「薬剤料」の割合が一般医療 71.6%、老人医療 75.6%となっている。

年齢階級別にみると、年齢が高くなるにつれて1件当たり点数、受付1回当たり点数ともに高くなっている。(表14、図15・16)

表14 一般医療 - 老人医療 - 年齢階級別にみた調剤行為別1件当たり点数・受付1回当たり点数・1件当たり受付回数

調剤行為	総数	一般医療	老人医療	年齢階級				
				0~14歳	15~39歳	40~64歳	65~74歳	75歳以上
1件当たり点数								
総数	1 000.4	867.1	1 421.3	509.6	643.9	975.7	1 208.4	1 395.7
調剤技術料	216.7	193.6	289.7	187.6	157.1	196.6	230.9	288.3
薬学管理料	52.5	51.3	56.2	62.6	47.7	48.0	51.3	56.1
薬剤料	729.6	620.7	1 073.8	258.6	438.6	728.8	924.1	1 050.0
特定保険医療材料料	1.5	1.5	1.4	0.7	0.5	2.2	1.9	1.2
受付1回当たり点数								
総数	710.5	637.3	912.6	337.0	508.9	740.0	860.3	897.9
調剤技術料	153.9	142.3	186.0	124.1	124.2	149.1	164.4	185.5
薬学管理料	37.3	37.7	36.1	41.4	37.7	36.4	36.5	36.1
薬剤料	518.2	456.2	689.5	171.0	346.7	552.8	658.0	675.5
特定保険医療材料料	1.0	1.1	0.9	0.5	0.4	1.7	1.3	0.8
1件当たり受付回数								
	1.41	1.36	1.56	1.51	1.27	1.32	1.40	1.55

図15 一般医療 - 老人医療別にみた調剤行為別受付1回当たり点数の構成割合 (平成19年6月審査分)

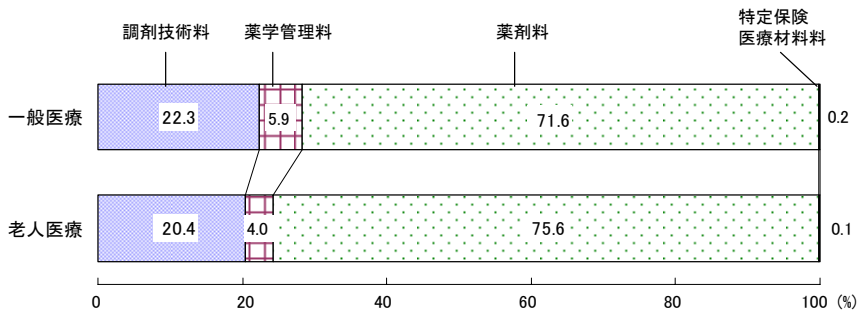
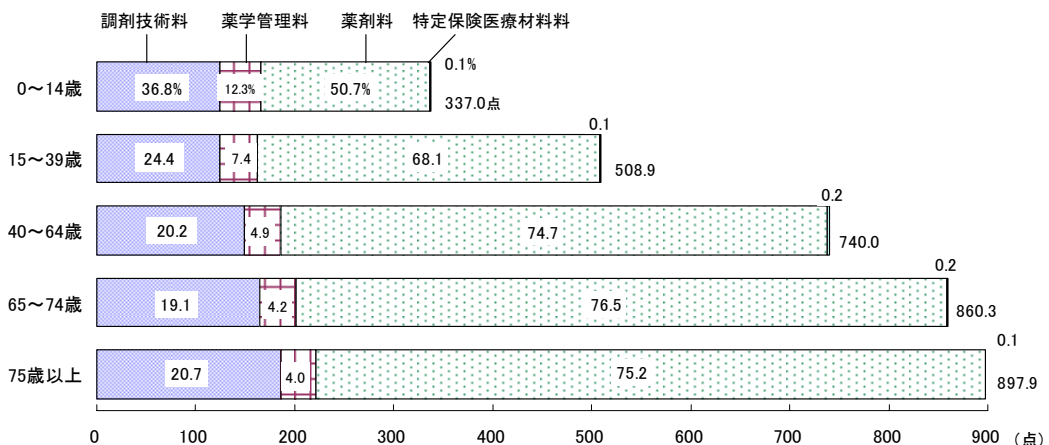


図16 年齢階級別にみた調剤行為別受付1回当たり点数

(平成19年6月審査分)



II 薬剤の使用状況

1 薬剤料の比率

医科総点数に薬局調剤分を合算して求めた薬剤料の割合は、総数 29.0%、入院 10.9%、入院外 36.6%となっており、そのうち、「投薬」及び「注射」で使用された薬剤料の割合は、それぞれ、27.3%、9.1%、34.9%となっている。

前年と比較すると、医科総点数に薬局調剤分を合算して求めた薬剤料の割合は、総数では 0.4 ポイント上昇、入院では 0.3 ポイント低下しており、入院外では 0.06 ポイント上昇している。(表15、図17)

表15 入院 - 入院外別にみた医科(薬局調剤分を含む)の薬剤料の比率の年次推移

(単位: %)		(各年6月審査分)					
		平成15年 (2003)	16 (2004)	17 (2005)	18 (2006)	19 (2007)	
医 科 (薬 局 調 剤 分 を 含 む)	総 数						
	薬剤料	27.6	27.5	28.7	28.6	29.0	
	投薬・注射	25.5	25.3	26.8	26.9	27.3	
	投薬	20.6	20.7	21.7	22.5	22.7	
	注射	4.9	4.6	5.1	4.4	4.5	
	その他	2.1	2.2	1.9	1.7	1.8	
	入 院						
	薬剤料	12.0	11.3	12.3	11.2	10.9	
	投薬・注射	9.8	9.4	10.4	9.4	9.1	
	投薬	2.6	2.5	2.5	2.6	2.6	
	注射	7.1	6.9	7.9	6.9	6.6	
	その他	2.2	2.0	1.9	1.8	1.8	
	入 院 外						
	薬剤料	36.6	35.8	37.0	36.6	36.6	
	投薬・注射	34.6	33.5	35.1	34.9	34.9	
投薬	30.9	30.1	31.5	31.6	31.1		
注射	3.7	3.4	3.6	3.3	3.7		
その他	2.0	2.3	1.9	1.7	1.8		

注: 1) 比率は、「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書及びDPCIに係る明細書のみ除外し、薬局調剤分の総点数、薬剤料(内服薬及び外用薬を「投薬」、注射薬を「注射」)を合算した割合である。

2) 「薬剤料」とは、総点数に占める「投薬」「注射」及びその他の診療行為の中の薬剤点数の割合である。

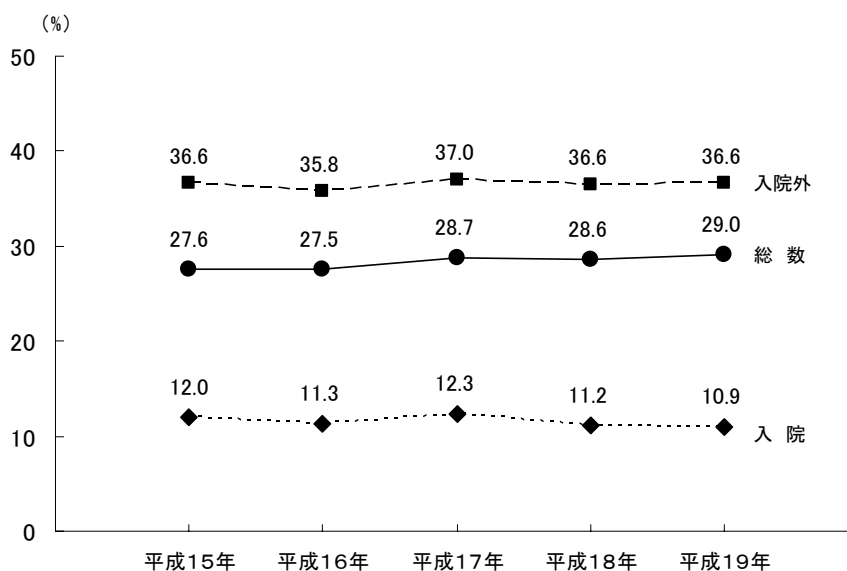
3) 「その他」とは、総点数に占める、「在宅医療」「検査」「画像診断」「リハビリテーション」「精神科専門療法」「処置」「手術」及び「麻酔」の中で使用された薬剤点数の割合である。

4) 入院時食事療養費等(円)は、点数換算(入院時食事療養費等÷10)して総点数に含めている。

5) 医科一歯科一薬局調剤別にみた薬剤料の比率は、統計表第13表に掲載している。

図17 入院 - 入院外別にみた医科(薬局調剤分を含む)の薬剤料の比率の年次推移

(各年6月審査分)



2 院内処方（入院外・投薬）及び院外処方（薬局調剤）における薬剤点数

薬剤点数階級別件数の構成割合を入院外の投薬（以下「院内処方」という。）、薬局調剤（以下「院外処方」という。）別にみると、ともに「500点未満」が最も多く、それぞれ68.2%、60.0%となっている。また、一般医療、老人医療別にみると、老人医療は一般医療に比べ「1000点以上」の割合が高くなっている。（表16、図18）

表16 院内処方 - 院外処方 - 年齢階級別にみた薬剤点数階級別件数の構成割合

(単位: %)

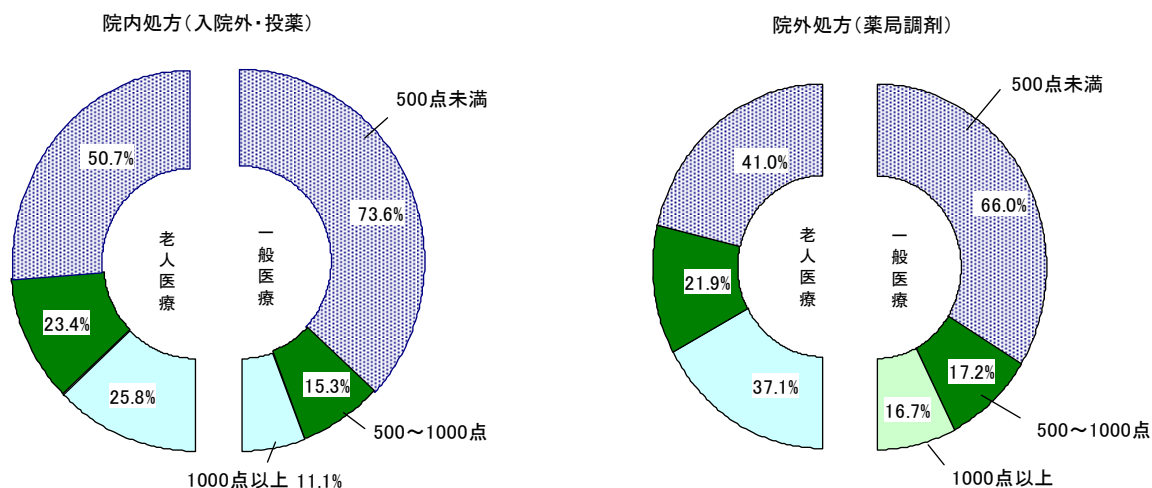
(平成19年6月審査分)

	総数	500点未満						500～1000	1000～1500	1500～2000	2000点以上	
		総数	100点未満	100～200未満	200～300	300～400	400～500					
院内処方 (入院外・投薬)	100.0 (100.0)	68.2 (68.1)	25.8 (25.7)	16.6 (16.6)	11.5 (11.7)	7.8 (7.6)	6.4 (6.4)	17.2 (17.2)	7.3 (7.2)	3.1 (3.4)	4.2 (4.2)	
一般医療	100.0	73.6	29.1	18.2	12.1	7.8	6.4	15.3	5.8	2.3	3.0	
老人医療	100.0	50.7	15.3	11.4	9.7	7.8	6.5	23.4	12.1	5.7	8.0	
院外処方 (薬局調剤)	100.0 (100.0)	60.0 (61.6)	19.9 (21.1)	15.4 (15.5)	10.9 (11.2)	7.4 (7.3)	6.5 (6.4)	18.4 (18.5)	8.9 (8.5)	4.9 (4.7)	7.9 (6.8)	
一般医療	100.0	66.0	22.3	17.3	12.0	7.7	6.6	17.2	7.3	3.7	5.8	
老人医療	100.0	41.0	12.1	9.2	7.5	6.2	5.9	21.9	13.9	8.5	14.6	
院内処方	0～14歳	100.0	93.7	54.2	21.7	9.0	5.4	3.3	4.8	1.3	0.1	0.1
	15～39歳	100.0	86.8	40.3	24.0	11.9	6.9	3.7	8.3	2.5	1.0	1.4
	40～64歳	100.0	69.1	21.1	17.4	13.3	9.1	8.1	18.0	6.4	2.8	3.7
	65～74歳	100.0	57.5	17.7	12.6	11.7	7.7	7.8	22.7	10.3	4.1	5.4
	75歳以上	100.0	51.1	15.5	11.6	9.7	7.9	6.5	23.4	12.1	5.7	7.7
院外処方	0～14歳	100.0	88.5	41.0	22.8	13.2	7.2	4.4	8.4	1.9	0.7	0.5
	15～39歳	100.0	78.0	27.2	23.1	13.5	8.3	5.9	12.9	4.1	2.1	2.9
	40～64歳	100.0	58.7	15.9	15.7	11.7	7.8	7.7	20.6	9.0	4.5	7.1
	65～74歳	100.0	49.0	13.5	10.7	10.2	7.4	7.2	22.2	11.5	6.3	11.0
	75歳以上	100.0	41.3	12.3	9.4	7.5	6.3	5.9	22.2	14.0	8.5	14.0

注:1) 院内処方は、「投薬」の出現する明細書を集計の対象としている。ただし、「処方せん料」を算定している明細書及び「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書は除く。
 2) 「院内処方」、「一般医療」及び「老人医療」には、年齢不詳を含む。
 3) ()内は平成18年6月審査分

図18 院内処方 - 院外処方別にみた薬剤点数別件数の構成割合

(平成19年6月審査分)



注: 院内処方は、「投薬」の出現する明細書を集計の対象としている。ただし、「処方せん料」を算定している明細書及び「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書は除く。

3 薬価階級別薬剤点数

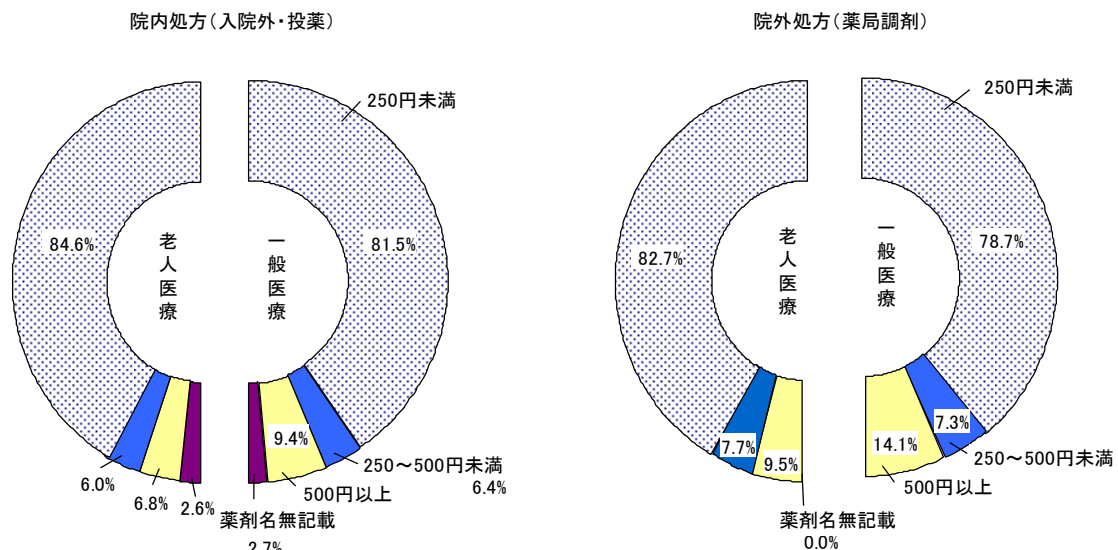
薬価階級別薬剤点数の構成割合を院内処方、院外処方別にみると、ともに「250円未満」が最も多く、それぞれ82.6%、80.1%となっている。また、一般医療、老人医療別にみると、一般医療は老人医療に比べ「500円以上」の割合が高くなっている。(表17、図19)

表17 院内処方 - 院外処方 - 年齢階級別にみた薬価階級別薬剤点数の構成割合

		総数	250円未満					250～500	500円以上	薬剤名無記載	
			総数	50円未満	50～100未満	100～150	150～200				200～250
院内処方 (入院外・投薬)	100.0	82.6	30.9	24.3	13.5	12.1	1.7	6.3	8.5	2.6	
	(100.0)	(82.2)	(31.4)	(24.6)	(13.3)	(11.2)	(1.7)	(6.1)	(8.6)	(3.1)	
	一般医療	100.0	81.5	29.9	24.4	13.5	12.1	1.6	6.4	9.4	2.7
老人医療	100.0	84.6	32.8	24.0	13.5	12.2	2.1	6.0	6.8	2.6	
院外処方 (薬局調剤)	100.0	80.1	28.3	23.9	13.8	11.6	2.6	7.4	12.5	0.0	
	(100.0)	(80.2)	(29.2)	(23.7)	(14.1)	(11.1)	(2.2)	(7.7)	(12.0)	(0.0)	
	一般医療	100.0	78.7	27.1	23.8	13.9	11.4	2.5	7.3	14.1	-
老人医療	100.0	82.7	30.4	24.0	13.5	12.0	2.8	7.7	9.5	0.0	
院内処方	0～14歳	100.0	74.1	28.7	22.0	19.7	2.2	1.4	17.6	7.0	1.3
	15～39歳	100.0	78.8	33.1	22.0	13.9	7.5	2.2	7.7	11.7	1.8
	40～64歳	100.0	81.1	28.8	24.3	12.7	13.7	1.5	5.8	10.7	2.4
	65～74歳	100.0	84.0	30.5	25.6	13.4	13.0	1.5	4.9	7.8	3.3
	75歳以上	100.0	84.8	32.9	24.0	13.6	12.2	2.1	6.2	6.3	2.7
院外処方	0～14歳	100.0	69.5	24.2	21.2	21.1	1.5	1.5	16.0	14.5	-
	15～39歳	100.0	77.0	30.8	22.9	12.5	7.5	3.3	8.2	14.8	-
	40～64歳	100.0	79.3	27.1	24.0	13.0	12.7	2.4	6.2	14.5	-
	65～74歳	100.0	80.6	26.9	24.3	13.7	13.2	2.4	6.5	12.9	-
	75歳以上	100.0	83.0	30.3	24.2	13.6	12.1	2.8	7.7	9.3	0.0

注: 1) 院内処方は、「投薬」の出現する明細書を集計の対象としている。ただし、「処方せん料」を算定している明細書及び「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書は除く。
 2) 「院内処方」、「一般医療」及び「老人医療」には、年齢不詳を含む。
 3) ()内は平成18年6月審査分

図19 院内処方 - 院外処方別にみた薬価階級別薬剤点数の構成割合
(平成19年6月審査分)



注: 院内処方は、「投薬」の出現する明細書を集計の対象としている。ただし、「処方せん料」を算定している明細書及び「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書は除く。

4 薬剤種類数

薬剤種類数別件数の構成割合を院内処方、院外処方別にみると、「1～2種類」が最も多く、それぞれ43.8%、39.6%となっている。1件当たり薬剤種類数をみると、院内処方では3.57種類、院外処方では3.87種類となっている。また、年齢階級別にみると、年齢が高くなるほど「7種類以上」の割合が高い傾向となっている。（表18、図20）

表18 院内処方 – 院外処方別にみた薬剤種類数別件数の構成割合・1件当たり薬剤種類数

(平成19年6月審査分)

	総数	1種類	2種類	3種類	4種類	5種類	6種類	7種類	8種類	9種類	10種類以上	1件当たり薬剤種類数
構成割合(単位: %)												
院内処方 (入院外・投薬)	100.0 (100.0)	22.5 (22.7)	21.3 (21.1)	16.8 (16.7)	12.4 (12.4)	8.7 (8.8)	5.9 (6.1)	4.1 (4.2)	2.7 (2.7)	1.9 (1.8)	3.8 (3.6)	3.57 (3.55)
一般医療	100.0	24.3	22.0	17.4	12.6	8.4	5.4	3.7	2.2	1.3	2.6	3.32
老人医療	100.0	16.6	18.8	14.9	11.6	9.5	7.6	5.4	4.3	3.7	7.7	4.38
院外処方 (薬局調剤)	100.0 (100.0)	19.4 (19.6)	20.2 (19.8)	16.6 (16.1)	12.6 (12.8)	9.3 (9.7)	6.6 (6.7)	4.6 (4.7)	3.3 (3.4)	2.4 (2.3)	5.1 (5.0)	3.87 (3.88)
一般医療	100.0	20.6	21.3	17.4	13.1	9.3	6.2	4.1	2.8	1.8	3.3	3.59
老人医療	100.0	15.5	17.0	13.8	10.8	9.0	7.8	6.4	5.1	4.0	10.7	4.79

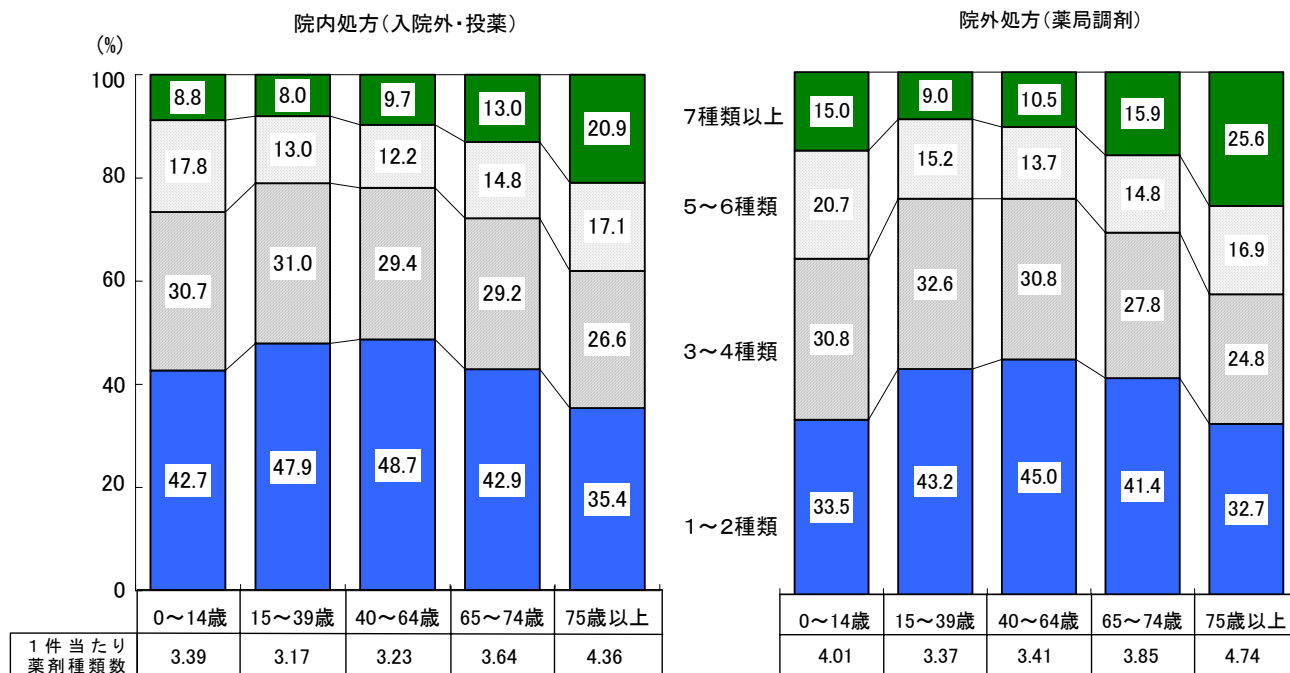
注:1) 院内処方は、「投薬」の出現する明細書を集計の対象としている。ただし、「処方せん料」を算定している明細書及び「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書は除く。

2) 薬剤名無記載は、1種類としている。

3) ()内は平成18年6月審査分

図20 年齢階級別にみた薬剤種類数別件数の構成割合・1件当たり薬剤種類数

(平成19年6月審査分)



注:1) 院内処方は、「投薬」の出現する明細書を集計の対象としている。ただし、「処方せん料」を算定している明細書及び「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書は除く。

2) 薬剤名無記載は、1種類としている。

5 薬効分類別みた薬剤の使用状況

薬効分類別薬剤点数の構成割合をみると、入院では「抗生物質製剤」が最も多く、次いで「中枢神経系用薬」、「生物学的製剤」の順となっている。院内処方では「循環器官用薬」が最も多く、次いで「その他の代謝性医薬品」が多く、院外処方では「循環器官用薬」が最も多く、次いで「中枢神経系用薬」が多い。

(表19、図21)

表19 入院 - 院内処方 - 院外処方別にみた薬効分類別薬剤点数の構成割合

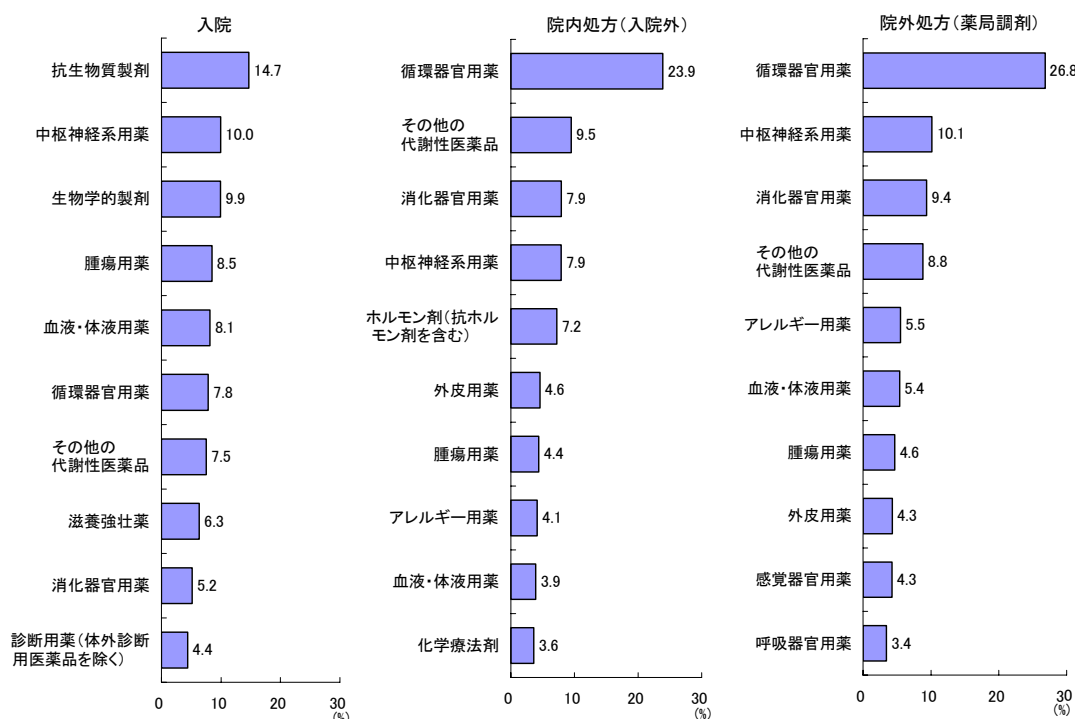
(単位:%) (各年6月審査分)

	入 院		院内処方 (入院外)		院外処方 (薬局調剤)	
	平成19年 (2007)	平成18年 (2006)	平成19年 (2007)	平成18年 (2006)	平成19年 (2007)	平成18年 (2006)
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
中 枢 神 経 系 用 薬	10.0	9.0	7.9	8.4	10.1	10.4
感 覚 器 官 用 薬	1.8	1.6	2.7	3.2	4.3	4.4
循 環 器 官 用 薬	7.8	7.3	23.9	23.8	26.8	26.6
呼 吸 器 官 用 薬	0.9	1.0	2.1	2.4	3.4	3.4
消 化 器 官 用 薬	5.2	5.3	7.9	7.8	9.4	9.5
ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	1.5	1.6	7.2	6.3	2.7	2.2
泌 尿 生 殖 器 官 及 び 肛 門 用 薬	0.8	1.0	2.1	2.2	2.4	2.2
外 皮 用 薬	1.0	1.0	4.6	4.3	4.3	4.5
血 液 ・ 体 液 用 薬	8.1	9.0	3.9	3.9	5.4	5.0
そ の 他 の 代 謝 性 医 薬 品	7.5	6.5	9.5	8.7	8.8	8.0
腫 瘍 用 薬	8.5	9.9	4.4	5.0	4.6	4.5
ア レ ル ギ ー 用 薬	0.4	0.4	4.1	4.0	5.5	5.6
抗 生 物 質 製 剤	14.7	14.8	2.7	3.0	3.1	3.4
化 学 療 法 剤	3.6	3.4	3.6	3.2	3.0	3.6
生 物 学 的 製 剤	9.9	11.4	1.9	1.8	0.1	0.6

注: 1) 入院及び院内処方は、「薬剤」の出現する明細書を集計の対象としている。ただし、「処方せん料」を算定している明細書、「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書及びDPCIに係る明細書は除く。
2) 「総数」には、上記分類以外の「ビタミン剤」、「滋養強壮薬」等の分類及び薬剤名無記載を含む。

図21 入院 - 院内処方 - 院外処方別にみた主な薬効分類別薬剤点数の割合

(平成19年6月審査分)



注: 入院及び院内処方は、「薬剤」の出現する明細書を集計の対象としている。ただし、「処方せん料」を算定している明細書、「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書及びDPCIに係る明細書は除く。

6 後発医薬品の使用状況

薬剤点数に占める後発医薬品の点数の割合をみると、入院5.2%、院内処方9.7%、院外処方5.5%となっている。また、薬剤種類数に占める後発医薬品の種類数の割合をみると、入院17.2%、院内処方24.5%、院外処方16.4%となっている。

後発医薬品の薬効分類別薬剤点数の割合をみると、入院では「血液・体液用薬」が最も多く、院内処方では「循環器官用薬」、院外処方では「ビタミン剤」が最も多くなっている。(表20、図22)

表20 入院 - 院内処方 - 院外処方別にみた後発医薬品の使用状況

(各年6月審査分)

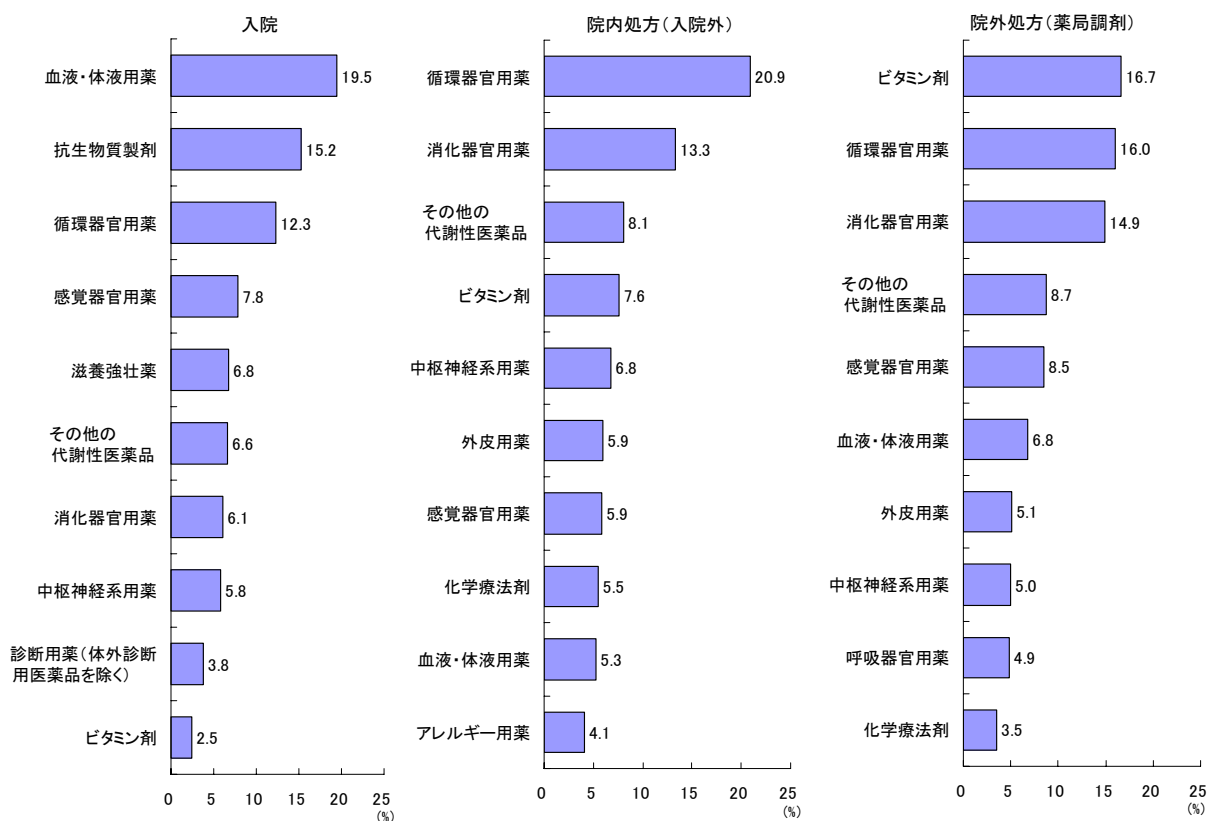
		平成17年 (2005)	18 (2006)	19 (2007)	一般医療	老人医療	病院	診療所
薬剤点数に占める 後発医薬品の 点数の割合 (%)	総 数	5.9	6.6	6.8	6.6	6.9	4.5	8.8
	入 院	4.9	5.1	5.2	4.9	5.7	4.9	10.4
	院内処方(入院外・投薬)	8.0	9.0	9.7	9.5	10.0	4.8	12.4
	院外処方(薬局調剤)	4.7	5.3	5.5	5.4	5.6	4.3	6.7
薬剤種類数に 占める後発医薬品の 種類数の割合 ²⁾ (%)	総 数	17.7	19.0	19.3	19.0	20.1	14.6	21.5
	入 院	15.1	15.0	17.2	17.3	17.1	16.6	23.4
	院内処方(入院外・投薬)	21.9	23.9	24.5	24.0	25.6	16.0	26.8
	院外処方(薬局調剤)	15.0	16.1	16.4	16.1	17.2	13.7	17.8

注：1) 入院及び院内処方は、「投薬」の出現する明細書を集計の対象としている。ただし、「処方せん料」を算定している明細書、「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書及びDPCに係る明細書は除く。

2) 薬剤種類数に占める後発医薬品の種類数の割合 = $\frac{\text{後発医薬品種類数}}{\text{薬剤種類数}} \times 100$

図22 入院 - 院内処方 - 院外処方別にみた主な後発医薬品の薬効分類別薬剤点数の割合

(平成19年6月審査分)



注：入院及び院内処方は、「薬剤」の出現する明細書を集計の対象としている。ただし、「処方せん料」を算定している明細書、「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書及びDPCに係る明細書は除く。

統 計 表

統計表一覧

(医科診療)

- 第1表 件数・診療実日数、入院 - 入院外・一般医療 - 老人医療別
- 第2表 診療行為別点数、入院 - 入院外・一般医療 - 老人医療別
- 第3表 入院の件数・診療実日数、病院 - 診療所（有床）・一般医療 - 老人医療別
- 第4表 入院の診療行為別点数、病院 - 診療所（有床）・一般医療 - 老人医療別
- 第5表 入院外の件数・診療実日数、病院 - 診療所・一般医療 - 老人医療別
- 第6表 入院外の診療行為別点数、病院 - 診療所・一般医療 - 老人医療別
- 第7表 入院の診療行為別1件当たり点数・1日当たり点数の年次推移
- 第8表 入院外の診療行為別1件当たり点数・1日当たり点数の年次推移
- 第9表 入院の件数・診療実日数・診療行為別点数、D P Cに係る明細書 - D P Cに係る明細書以外別

(歯科診療)

- 第10表 歯科の件数・診療実日数、一般医療 - 老人医療別
- 第11表 歯科の診療行為別点数、一般医療 - 老人医療別
- 第12表 歯科の診療行為別1件当たり点数・1日当たり点数の年次推移

(薬剤料の比率)

- 第13表 医科（入院 - 入院外） - 歯科 - 薬局調剤別にみた薬剤料の比率の年次推移

(薬局調剤)

- 第14表 調剤行為別1件当たり点数・受付1回当たり点数・1件当たり受付回数の年次推移
- 第15表 薬効分類別薬剤点数の構成割合、入院 - 院内処方 - 院外処方別

(医科診療)

第1表 件数・診療実日数、入院 - 入院外・一般医療 - 老人医療別

(単位:千)

(平成19年6月審査分)

	総 数		入 院		入 院 外	
	件 数	診療実日数	件 数	診療実日数	件 数	診療実日数
総 数	76 610	166 372	1 983	31 742	74 627	134 630
一 般 医 療	58 411	110 716	1 073	14 868	57 338	95 847
老 人 医 療	18 199	55 656	910	16 874	17 289	38 782

第2表 診療行為別点数、入院 - 入院外・一般医療 - 老人医療別

(単位:千)

(平成19年6月審査分)

診 療 行 為	総 数	入 院	入 院 外
総初学在宅画像投注リハ精神科専門療	170 272 539	78 670 383	91 602 156
再理	17 181 627	92 050	17 089 577
管 医	9 550 555	647 983	8 902 572
診	4 497 937	133 847	4 364 089
査断薬射ン法置術酔療等	17 746 298	2 985 722	14 760 575
断薬射ン法置術酔療等	8 166 215	1 844 785	6 321 429
断薬射ン法置術酔療等	20 755 206	1 619 716	19 135 490
断薬射ン法置術酔療等	9 168 831	4 191 723	4 977 108
断薬射ン法置術酔療等	3 163 392	2 529 709	633 683
断薬射ン法置術酔療等	2 172 122	410 411	1 761 712
断薬射ン法置術酔療等	13 100 703	2 047 458	11 053 245
断薬射ン法置術酔療等	12 522 211	10 572 104	1 950 108
断薬射ン法置術酔療等	1 998 149	1 576 474	421 675
断薬射ン法置術酔療等	583 774	355 550	228 224
断薬射ン法置術酔療等	40 312 193	40 310 191	2 002
断薬射ン法置術酔療等	9 352 804	9 352 804	.
		一 般 医 療	
総初学在宅画像投注リハ精神科専門療	103 503 340	40 360 694	63 142 646
再理	13 315 425	56 104	13 259 321
管 医	6 576 792	371 700	6 205 092
診	2 185 349	64 290	2 121 059
査断薬射ン法置術酔療等	12 483 349	1 569 245	10 914 104
断薬射ン法置術酔療等	5 513 875	925 840	4 588 035
断薬射ン法置術酔療等	13 727 301	910 259	12 817 042
断薬射ン法置術酔療等	5 138 030	1 971 629	3 166 402
断薬射ン法置術酔療等	1 352 799	925 854	426 944
断薬射ン法置術酔療等	1 802 293	322 726	1 479 567
断薬射ン法置術酔療等	7 057 532	689 785	6 367 748
断薬射ン法置術酔療等	7 897 206	6 526 270	1 370 936
断薬射ン法置術酔療等	1 398 163	1 173 751	224 412
断薬射ン法置術酔療等	452 702	253 234	199 468
断薬射ン法置術酔療等	18 495 995	18 494 130	1 865
断薬射ン法置術酔療等	6 106 063	6 106 063	.
		老 人 医 療	
総初学在宅画像投注リハ精神科専門療	66 769 199	38 309 689	28 459 510
再理	3 866 202	35 946	3 830 256
管 医	2 973 763	276 283	2 697 480
診	2 312 588	69 557	2 243 031
査断薬射ン法置術酔療等	5 262 949	1 416 477	3 846 471
断薬射ン法置術酔療等	2 652 340	918 945	1 733 394
断薬射ン法置術酔療等	7 027 905	709 457	6 318 448
断薬射ン法置術酔療等	4 030 801	2 220 095	1 810 706
断薬射ン法置術酔療等	1 810 593	1 603 854	206 739
断薬射ン法置術酔療等	369 829	87 684	282 145
断薬射ン法置術酔療等	6 043 171	1 357 674	4 685 498
断薬射ン法置術酔療等	4 625 005	4 045 833	579 172
断薬射ン法置術酔療等	599 986	402 723	197 263
断薬射ン法置術酔療等	131 072	102 316	28 756
断薬射ン法置術酔療等	21 816 198	21 816 061	137
断薬射ン法置術酔療等	3 246 741	3 246 741	.
入院時食事療養等(単位:千円)			
総 数	55 210 451	55 210 451	.
一 般 医 療	25 308 799	25 308 799	.
老 人 医 療	29 901 652	29 901 652	.

注:「総数*」には「入院時食事療養等」を含まない。

第3表 入院の件数・診療実日数、病院 - 診療所（有床）・一般医療 - 老人医療別

(単位:千)

(平成19年6月審査分)

	病 院					診療所 (有床)
	総数	精神科病院	特定機能病院	療養病床を 有する病院	一般病院	
	件 数					
総 数	1 845	184	104	538	1 020	138
一 般 医 療	995	129	80	181	605	78
老 人 医 療	850	54	24	357	415	60
	診療実日数					
総 数	30 123	5 212	1 231	10 834	12 846	1 620
一 般 医 療	14 284	3 634	912	2 993	6 745	584
老 人 医 療	15 839	1 578	319	7 841	6 101	1 035

第4表 入院の診療行為別点数、病院 - 診療所（有床）・一般医療 - 老人医療別

(単位:千)

(平成19年6月審査分)

診 療 行 為	病 院					診 療 所 (有床)
	総数	精神科病院	特定機能病院	療養病床を 有する病院	一般病院	
	総 数					
総初診・再診等 在宅医療 検査 画像 投注 リハビリテーション 精神科専門療法 処置 手術 麻酔 放射線治療 入院料 診断群分類による包括評価等	76 383 444	5 957 419	5 626 744	21 987 902	42 811 379	2 286 939
	一 般 医 療					
総初診・再診等 在宅医療 検査 画像 投注 リハビリテーション 精神科専門療法 処置 手術 麻酔 放射線治療 入院料 診断群分類による包括評価等	39 267 700	4 170 268	4 248 510	6 679 761	24 169 160	1 092 995
	老 人 医 療					
総初診・再診等 在宅医療 検査 画像 投注 リハビリテーション 精神科専門療法 処置 手術 麻酔 放射線治療 入院料 診断群分類による包括評価等	37 115 745	1 787 151	1 378 234	15 308 141	18 642 218	1 193 944
入院時食事療養等(単位:千円)						
総 数	52 773 573	10 029 375	1 936 377	20 092 926	20 714 895	2 436 878
一 般 医 療	24 503 026	6 955 380	1 420 049	5 327 092	10 800 505	805 774
老 人 医 療	28 270 547	3 073 995	516 328	14 765 834	9 914 390	1 631 105

注:「総数*」には「入院時食事療養等」を含まない。

第5表 入院外の件数・診療実日数、病院 - 診療所・一般医療 - 老人医療別

(単位:千)

(平成19年6月審査分)

	病 院					診 療 所
	総数	精神科病院	特定機能病院	療養病床を有する病院	一般病院	
	件 数					
総 数	21 504	578	1 591	5 716	13 618	53 123
一般医療	15 369	480	1 270	3 769	9 850	41 969
老人医療	6 135	98	322	1 947	3 768	11 154
	診療実日数					
総 数	34 122	1 209	2 113	10 408	20 392	100 508
一般医療	23 480	1 017	1 701	6 379	14 383	72 368
老人医療	10 643	192	412	4 029	6 009	28 140

第6表 入院外の診療行為別点数、病院 - 診療所・一般医療 - 老人医療別

(単位:千)

(平成19年6月審査分)

診 療 行 為	病 院					診 療 所
	総数	精神科病院	特定機能病院	療養病床を有する病院	一般病院	
	総 数					
総 数	32 551 989	970 492	2 764 146	8 179 803	20 637 548	59 050 166
・再診	3 629 224	87 398	183 917	1 111 814	2 246 094	13 460 353
医学管理診療	1 447 442	17 899	66 686	475 240	887 616	7 455 130
在宅医療	2 061 618	4 378	256 120	469 238	1 331 882	2 302 472
検査	6 557 239	31 824	678 668	1 364 009	4 482 739	8 203 337
画像診断	4 519 377	7 286	432 166	952 779	3 127 147	1 802 052
投薬	6 163 095	349 177	483 476	1 461 397	3 869 046	12 972 395
注射	2 689 940	6 323	468 226	538 495	1 676 897	2 287 168
リハビリテーション	323 453	80	5 323	161 593	156 457	310 231
精神科専門療法	756 640	465 317	36 641	91 831	162 851	1 005 071
処置	3 409 939	369	32 974	1 342 601	2 033 995	7 643 306
手術	729 561	8	60 232	165 100	504 221	1 220 546
麻酔	92 610	430	10 408	25 978	55 794	329 065
放射線治療	171 839	-	49 304	19 730	102 805	56 385
入院料等	-	-	-	-	-	2 002
	一 般 医 療					
総 数	22 174 569	817 169	2 265 838	5 054 509	14 037 052	40 968 077
・再診	2 746 573	73 780	152 799	778 356	1 741 638	10 512 748
医学管理診療	975 141	15 858	54 132	293 342	611 809	5 229 951
在宅医療	1 243 736	2 228	218 843	214 354	808 311	877 322
検査	4 796 739	25 224	551 578	926 670	3 293 266	6 117 365
画像診断	3 251 055	3 069	343 141	648 698	2 256 148	1 336 980
投薬	3 979 249	293 275	380 448	853 185	2 452 341	8 837 793
注射	1 879 463	5 509	397 857	297 067	1 179 030	1 286 939
リハビリテーション	234 322	62	4 342	109 605	120 312	192 622
精神科専門療法	638 283	397 712	33 789	80 916	125 866	841 283
処置	1 715 148	188	25 754	715 404	973 803	4 652 599
手術	512 571	3	51 820	112 283	348 465	858 365
麻酔	47 769	258	7 414	9 860	30 237	176 644
放射線治療	154 508	-	43 916	14 770	95 822	44 960
入院料等	-	-	-	-	-	1 865
	老 人 医 療					
総 数	10 377 421	153 323	498 308	3 125 294	6 600 496	18 082 089
・再診	882 651	13 618	31 118	333 458	504 457	2 947 605
医学管理診療	472 301	2 041	12 554	181 898	275 807	2 225 179
在宅医療	817 881	2 150	37 277	254 884	523 571	1 425 149
検査	1 760 500	6 600	127 089	437 339	1 189 472	2 085 971
画像診断	1 268 322	4 217	89 025	304 081	870 999	465 072
投薬	2 183 846	55 902	103 027	608 212	1 416 705	4 134 602
注射	810 477	813	70 369	241 428	497 867	1 000 229
リハビリテーション	89 131	17	981	51 988	36 144	117 608
精神科専門療法	118 357	67 605	2 852	10 915	36 985	163 788
処置	1 694 791	182	7 220	627 197	1 060 192	2 990 707
手術	216 990	5	8 412	52 817	155 756	362 181
麻酔	44 842	173	2 994	16 118	25 557	152 421
放射線治療	17 332	-	5 388	4 960	6 984	11 424
入院料等	-	-	-	-	-	137

第7表 入院の診療行為別1件当たり点数・1日当たり点数の年次推移

(各年6月審査分)

診療行為	1件当たり点数					1日当たり点数				
	平成15年 (2003)	16 (2004)	17 (2005)	18 (2006)	19 (2007)	平成15年 (2003)	16 (2004)	17 (2005)	18 (2006)	19 (2007)
総数	34 538.5	35 866.7	37 583.2	37 029.6	39 672.9	2 178.2	2 167.3	2 252.1	2 305.0	2 478.4
初・再診	54.3	49.0	48.9	42.2	46.4	3.4	3.0	2.9	2.6	2.9
医学管理等	343.8	311.0	329.3	300.0	326.8	21.7	18.8	19.7	18.7	20.4
在宅医療	59.8	55.8	60.0	59.5	67.5	3.8	3.4	3.6	3.7	4.2
検査	2 109.7	1 790.2	1 776.8	1 511.0	1 505.7	133.1	108.2	106.5	94.1	94.1
画像診断	1 212.2	1 025.9	1 034.8	894.3	930.3	76.5	62.0	62.0	55.7	58.1
投薬	896.6	811.0	829.7	789.2	816.8	56.5	49.0	49.7	49.1	51.0
注射	2 508.7	2 270.7	2 624.1	2 157.6	2 113.9	158.2	137.2	157.2	134.3	132.1
リハビリテーション	710.6	875.0	894.8	1 084.2	1 275.7	44.8	52.9	53.6	67.5	79.7
精神科専門療法	167.3	186.2	166.0	188.5	207.0	10.6	11.2	9.9	11.7	12.9
処置	967.3	1 093.6	1 108.5	995.0	1 032.5	61.0	66.1	66.4	61.9	64.5
手術	3 899.7	4 096.2	4 248.9	4 654.6	5 331.4	245.9	247.5	254.6	289.7	333.1
麻酔	620.3	598.1	711.8	783.8	795.0	39.1	36.1	42.7	48.8	49.7
放射線治療	144.4	88.4	165.6	131.5	179.3	9.1	5.3	9.9	8.2	11.2
入院料等	20 542.7	21 047.0	21 319.2	20 638.6	20 328.2	1 295.5	1 271.8	1 277.5	1 284.7	1 269.9
診断群分類 による包括評価等	300.8	1 568.6	2 264.7	2 799.5	4 716.6	19.0	94.8	135.7	174.3	294.6
入院時食事療養等 (単位:円)	31 953	33 409	33 600	27 641	27 842	2 015	2 019	2 013	1 721	1 739

注:「総数」には「入院時食事療養等」を含まない。

第8表 入院外の診療行為別1件当たり点数・1日当たり点数の年次推移

(各年6月審査分)

診療行為	1件当たり点数					1日当たり点数				
	平成15年 (2003)	16 (2004)	17 (2005)	18 (2006)	19 (2007)	平成15年 (2003)	16 (2004)	17 (2005)	18 (2006)	19 (2007)
総数	1 251.8	1 276.3	1 258.4	1 235.8	1 227.5	635.1	680.6	678.9	665.7	680.4
初・再診	238.4	237.7	239.3	230.7	229.0	121.0	126.8	129.1	124.3	126.9
医学管理等	125.1	126.8	118.7	117.2	119.3	63.4	67.6	64.0	63.1	66.1
在宅医療	59.9	56.3	53.1	53.3	58.5	30.4	30.0	28.6	28.7	32.4
検査	201.1	202.7	200.2	195.0	197.8	102.0	108.1	108.0	105.0	109.6
画像診断	84.2	81.4	84.0	83.9	84.7	42.7	43.4	45.3	45.2	47.0
投薬	302.3	288.3	286.1	280.1	256.4	153.4	153.7	154.4	150.9	142.1
注射	68.6	64.4	68.1	60.0	66.7	34.8	34.4	36.8	32.3	37.0
リハビリテーション	10.4	11.2	11.8	13.0	8.5	5.3	6.0	6.4	7.0	4.7
精神科専門療法	19.4	25.1	26.0	30.0	23.6	9.8	13.4	14.0	16.2	13.1
処置	112.3	147.8	137.4	135.3	148.1	57.0	78.8	74.1	72.9	82.1
手術	23.4	25.0	26.5	27.4	26.1	11.9	13.3	14.3	14.7	14.5
麻酔	4.5	6.2	4.1	5.3	5.7	2.3	3.3	2.2	2.8	3.1
放射線治療	1.9	3.3	3.0	4.7	3.1	1.0	1.7	1.6	2.5	1.7

注:「総数」には「入院料等(短期滞在手術基本料1)」を含む。

第9表 入院の件数・診療実日数・診療行為別点数、
DPCに係る明細書 - DPCに係る明細書以外別

(単位:千)

(平成19年6月審査分)

	DPCに係る明細書	DPCに係る明細書以外
件数	288	1 695
診療実日数	3 067	28 675
総数	14 708 184	63 962 199
初・再診	18 078	73 972
医学管理等	100 837	547 146
在宅医療	30 234	103 613
検査	157 271	2 828 451
画像診断	27 152	1 817 633
投薬	106 264	1 513 452
注射	36 857	4 154 867
リハビリテーション	167 738	2 361 971
精神科専門療法	2 229	408 181
処置	61 795	1 985 664
手術	3 410 539	7 161 564
麻酔	542 704	1 033 770
放射線治療	94 078	261 472
入院料等	599 852	39 710 339
診断群分類による包括評価等	9 352 804	-
入院時食事療養等(単位:千円)	4 711 640	50 498 811

注:1) DPCに係る明細書とは、医科入院医療機関別包括評価用診療報酬明細書(以下、「DPC明細書」という。)及びDPC明細書に総括された医科入院用診療報酬明細書である。

2) 「総数」には「入院時食事療養等」を含まない。

(歯科診療)

第10表 歯科の件数・診療実日数、一般医療 - 老人医療別

(単位:千)

(平成19年6月審査分)

	総 数	一 般 医 療	老 人 医 療
件 数	12 919	11 377	1 542
診 療 実 日 数	28 526	24 699	3 827

第11表 歯科の診療行為別点数、一般医療 - 老人医療別

(単位:千)

(平成19年6月審査分)

診 療 行 為	総 数	一 般 医 療	老 人 医 療
総 数*	17 308 718	14 658 799	2 649 919
初 再 診	1 973 040	1 714 857	258 182
医 学 管 理 等	1 628 103	1 450 614	177 489
在 宅 医 療	128 687	34 800	93 887
検 査	1 029 328	922 994	106 334
画 像 診 断	633 989	574 752	59 237
投 薬	303 145	260 945	42 200
注 射	14 784	11 381	3 402
リハビリテーション	1 604	951	653
処 置	2 915 071	2 610 709	304 362
手 術	533 493	457 452	76 041
麻 酔	37 260	33 878	3 381
放 射 線 治 療	2 024	1 079	945
歯冠修復及び欠損補綴	7 999 296	6 499 963	1 499 332
歯 科 矯 正	5 145	5 139	6
入 院 料 等	102 663	78 180	24 483
入院時食事療養等 (単位:千円)	91 656	67 178	24 478

注:「総数*」には「入院時食事療養等」を含まない。

第12表 歯科の診療行為別1件当たり点数・1日当たり点数の年次推移

(各年6月審査分)

診 療 行 為	1 件 当 たり 点 数					1 日 当 たり 点 数				
	平成15年 (2003)	16 (2004)	17 (2005)	18 (2006)	19 (2007)	平成15年 (2003)	16 (2004)	17 (2005)	18 (2006)	19 (2007)
総 数	1 452.6	1 401.2	1 362.7	1 255.8	1 339.8	595.6	618.0	599.1	581.2	606.8
初 再 診	188.2	191.9	193.2	146.5	152.7	77.2	84.7	85.0	67.8	69.2
医 学 管 理 等	105.1	114.8	113.2	126.9	126.0	43.1	50.6	49.8	58.7	57.1
在 宅 医 療	17.0	13.4	7.4	9.1	10.0	7.0	5.9	3.2	4.2	4.5
検 査	76.5	75.8	75.6	78.2	79.7	31.4	33.4	33.3	36.2	36.1
画 像 診 断	47.9	49.7	48.9	46.7	49.1	19.6	21.9	21.5	21.6	22.2
投 薬	25.8	26.6	25.4	22.3	23.5	10.6	11.7	11.2	10.3	10.6
注 射	1.5	1.3	1.5	1.2	1.1	0.6	0.6	0.7	0.5	0.5
リハビリテーション	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.0	0.1
処 置	226.6	215.7	220.7	198.5	225.6	92.9	95.1	97.0	91.8	102.2
手 術	54.9	53.3	45.4	42.0	41.3	22.5	23.5	19.9	19.4	18.7
麻 酔	4.0	3.4	3.6	2.9	2.9	1.6	1.5	1.6	1.4	1.3
放 射 線 治 療	0.1	0.2	0.2	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1
歯冠修復及び欠損補綴	693.9	646.3	618.7	572.5	619.2	284.5	285.1	272.0	265.0	280.4
歯 科 矯 正	0.4	1.8	0.9	1.4	0.4	0.2	0.8	0.4	0.6	0.2
入 院 料 等	10.5	6.9	7.7	7.3	7.9	4.3	3.1	3.4	3.4	3.6

(薬剤料の比率)

第13表 医科(入院 - 入院外) - 歯科 - 薬局調剤別にみた薬剤料の比率の年次推移

(単位:%) (各年6月審査分)

		平成15年 (2003)	16 (2004)	17 (2005)	18 (2006)	19 (2007)	
医 科	総 数						
	薬剤料	22.2	21.6	22.1	21.7	21.2	
	投薬・注射	19.6	19.2	19.8	19.4	18.8	
	投薬	13.9	13.7	13.9	14.3	13.7	
	注射	5.7	5.4	5.9	5.1	5.1	
	その他	2.6	2.5	2.4	2.3	2.4	
	入 院						
	薬剤料	12.0	11.3	12.3	11.2	10.9	
	投薬・注射	9.8	9.4	10.4	9.4	9.1	
	投薬	2.6	2.5	2.5	2.6	2.6	
	注射	7.1	6.9	7.9	6.9	6.6	
	その他	2.2	2.0	1.9	1.8	1.8	
入 院 外							
薬剤料	34.5	33.2	33.5	33.0	32.5		
投薬・注射	31.5	30.2	30.6	30.1	29.4		
投薬	27.4	26.4	27.0	26.9	25.9		
注射	4.1	3.8	3.6	3.2	3.5		
その他	3.0	3.0	2.9	2.9	3.0		
歯 科	薬剤料	1.0	1.0	1.1	1.0	1.0	
薬 調 局 剤	薬剤料	70.0	70.9	71.8	71.5	72.9	

- 注:1) 「医科」及び「歯科」では、「処方せん料」を算定している明細書、「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書及びDPCに係る明細書は除外してある。
- 2) 「薬剤料」とは、総点数に占める「投薬」「注射」及びその他の診療行為の中の薬剤点数の割合である。
- 3) 「その他」とは、総点数に占める、「在宅医療」「検査」「画像診断」「リハビリテーション」「精神科専門療法」「処置」「手術」及び「麻酔」の中で使用された薬剤点数の割合である。
- 4) 入院時食事療養費等(円)は、点数換算(入院時食事療養費等÷10)して総点数に含めている。

(薬局調剤)

第14表 調剤行為別1件当たり点数・受付1回当たり点数・1件当たり受付回数の年次推移

(各年6月審査分)

		平成15年 (2003)	16 (2004)	17 (2005)	18 (2006)	19 (2007)
1 件 当 た り 点 数						
総 数		949.0	936.9	961.8	959.0	1 000.4
調 剤 技 術 料		227.1	217.1	217.3	219.8	216.7
薬 学 管 理 料		56.6	54.0	52.7	52.8	52.5
薬 剤 料		664.1	664.2	690.4	685.3	729.6
特定保険医療材料		1.0	1.4	1.3	0.9	1.5
受 付 1 回 当 た り 点 数						
総 数		617.2	649.6	672.2	666.5	710.5
調 剤 技 術 料		147.7	150.5	151.9	152.8	153.9
薬 学 管 理 料		36.8	37.4	36.8	36.7	37.3
薬 剤 料		431.9	460.5	482.5	476.3	518.2
特定保険医療材料		0.7	1.0	0.9	0.6	1.0
1 件 当 た り 受 付 回 数						
		1.54	1.44	1.43	1.44	1.41

第15表 薬効分類別薬剤点数の構成割合、入院 – 院内処方 – 院外処方別

(単位:%)

(平成19年6月審査分)

	総 数			後発医薬品(再掲)		
	入 院	院内処方 (入院外)	院外処方 (薬局調剤)	入 院	院内処方 (入院外)	院外処方 (薬局調剤)
総 数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
中 枢 神 経 系 用 薬	10.0	7.9	10.1	5.8	6.8	5.0
末 梢 神 経 系 用 薬	0.7	0.8	0.4	0.7	0.8	0.4
感 覚 器 官 用 薬	1.8	2.7	4.3	7.8	5.9	8.5
循 環 器 官 用 薬	7.8	23.9	26.8	12.3	20.9	16.0
呼 吸 器 官 用 薬	0.9	2.1	3.4	0.7	2.9	4.9
消 化 器 官 用 薬	5.2	7.9	9.4	6.1	13.3	14.9
ホルモン剤(抗ホルモン剤を含む)	1.5	7.2	2.7	1.2	2.1	1.0
泌 尿 生 殖 器 官 及 び 肛 門 用 薬	0.8	2.1	2.4	1.1	3.6	2.1
外 皮 用 薬	1.0	4.6	4.3	1.2	5.9	5.1
歯 科 口 腔 用 薬	0.0	0.0	0.0	-	-	-
その他の個々の器官系用医薬品	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0
ビ タ ミ ン 剤	0.8	2.0	2.1	2.5	7.6	16.7
滋 養 強 壮 薬	6.3	0.8	1.2	6.8	0.5	0.5
血 液 ・ 体 液 用 薬	8.1	3.9	5.4	19.5	5.3	6.8
人 工 透 析 用 薬	0.7	0.7	0.1	1.2	0.2	-
そ の 他 の 代 謝 性 医 薬 品	7.5	9.5	8.8	6.6	8.1	8.7
細 胞 賦 活 用 薬	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-
腫 瘍 用 薬	8.5	4.4	4.6	2.4	0.7	1.0
放 射 性 医 薬 品	2.0	1.1	-	2.2	0.8	-
ア レ ル ギ ー 用 薬	0.4	4.1	5.5	0.2	4.1	2.9
生 薬	0.0	0.0	0.0	-	-	-
漢 方 製 剤	0.2	1.3	1.7	-	-	-
その他の生薬及び漢方処方に基づく医薬品	0.0	0.0	0.0	-	-	-
抗 生 物 質 製 剤	14.7	2.7	3.1	15.2	2.9	2.0
化 学 療 法 剤	3.6	3.6	3.0	1.2	5.5	3.5
生 物 学 的 製 剤	9.9	1.9	0.1	-	-	-
寄 生 動 物 用 薬	0.0	0.0	0.0	-	0.0	-
調 剤 用 薬	0.1	0.0	0.0	0.0	-	0.0
診 断 用 薬 (体 外 診 断 用 医 薬 品 を 除 く)	4.4	2.1	0.0	3.8	1.8	-
公 衆 衛 生 用 薬	0.0	-	-	-	-	-
体 外 診 断 用 医 薬 品	-	-	-	-	-	-
その他の治療を主目的としない医薬品	0.8	0.1	0.0	0.3	0.2	0.0
ア ル カ ロ イ ド 系 麻 薬 (天 然 麻 薬)	1.0	0.1	0.3	1.3	0.0	-
非 ア ル カ ロ イ ド 系 麻 薬	1.0	0.1	0.1	-	-	-
薬 剤 名 無 記 載	0.1	2.1	0.0	-	-	-

注: 入院及び院内処方は、「薬剤」の出現する明細書を集計の対象としている。ただし、「処方せん料」を算定している明細書、「投薬」「注射」を包括した診療行為が出現する明細書及びDPCIに係る明細書は除く。

用語の定義

一般医療： 疾病又は負傷に関して、保険医療機関又は保険薬局において受けた療養の給付をいう（老人保健法(※)の適用を受ける者を除く。）。

老人医療： 老人保健法の適用を受ける者が疾病又は負傷に関して、保険医療機関又は保険薬局において受けた医療の給付をいう。

なお、平成14年の老人保健法改正により、平成14年10月1日以降老人医療の受給対象年齢について、従来の「70歳以上」から「75歳以上」に5年間で段階的に引き上げることとされた。このため、平成19年5月現在における老人医療受給対象年齢は74歳以上(前年調査時では73歳以上)となる。

※ 老人保健法については、健康保険法等の一部を改正する法律(平成18年法律第83号)により、平成20年4月より「高齢者の医療の確保に関する法律」に改称された。

件数： 1か月ごとに提出される明細書1枚を1件としている。外来患者が当月中に入院した場合は、入院外で1件、入院で1件となり、それぞれ1件ずつ計上している。

なお、「診療報酬明細書(医科入院医療機関別包括評価用)」を総括表として、「診療報酬明細書(医科入院医療機関別包括評価用)」若しくは「医科入院明細書」が添付されている明細書は、総括表の単位で1件とした。

診療実日数(日数)： 入院では当月中の入院日数をいい、入院外では当月中の外来、往診等で医師の診療を受けた日数をいう。

点数： 各都道府県の支払基金支部及び国保団体連合会において審査決定された診療報酬点数及び調剤報酬点数をいう。

病院：

精神科病院 — 精神病床のみを有する病院

特定機能病院 — 高度の医療の提供、高度の医療技術の開発及び評価並びに高度の医療に関する研修を実施する能力を備え、かかる病院として適切な人員配置、構造設備等を有するとして厚生労働大臣の承認を受けた病院

療養病床を有する病院 — 主として長期にわたり療養を必要とする患者を入院させる病床を有する病院

一般病院 — 上記以外の病院

処方せん料： 医療機関で投薬を行わず、保険(調剤)薬局で保険調剤を受けさせるために、患者へ処方せんを交付した場合に算定する点数をいう。

薬局調剤： 健康保険法等に基づく療養の給付の一環として、医療機関の保険医が患者に交付した処方せんに基づき、保険薬局において保険薬剤師が行う調剤業務をいう。

受付回数： 保険薬局で当月中に処方せんを受け付けた回数をいう。

**「投薬」「注射」を
包括した診療行為**： 入院、入院外で次の診療行為をいう。

入院 — 「老人特定入院基本料」、「療養病棟入院基本料」、「有床診療所療養病床入院基本料」、「特殊疾患入院医療管理料」、「回復期リハビリテーション病棟入院料」、「亜急性期入院医療管理料」、「特殊疾患療養病棟入院料」、「緩和ケア病棟入院料」、「精神科救急入院料」、「精神科急性期治療病棟入院料」、「精神療養病棟入院料」、「老人一般病棟入院医療管理料」、「老人性認知症疾患治療病棟入院料」、「診療所老人医療管理料」及び「診断群分類による包括評価等」

入院外 — 「小児科外来診療料」、「生活習慣病管理料」、「在宅時医学総合管理料」及び「在宅末期医療総合診療料」

薬価： 「使用薬剤の薬価（「薬価基準」）」に記載された価格

薬剤名無記載： 電算化が行われていないものとして届け出た保険医療機関及び保険薬局で所定単位（内服薬は1剤1日分、屯服薬は1回分、外用薬は1調剤分）当たりの薬価が175円以下（17点以下）で、明細書に個々の薬剤名の記載のないものをいう。

薬剤種類数： 「使用薬剤の薬価（「薬価基準」）」に記載されている品名単位ごとに数えたものをいう。
なお、薬剤名無記載については1種類としている。

薬効分類： 「日本標準商品分類」の「中分類87—医薬品及び関連製品」に準拠している。

後発医薬品： 新医薬品等とその有効成分、分量、用法、用量、効能及び効果が同一性を有するものとして承認された医薬品（いわゆるジェネリック医薬品）